

# 米先物取引の試験上場に関する シーズンレポート (Vol.6)

限月 ハナ枚数	東京 コメ					JPY		出来高
	FEB3	MAR3	APR3	MAY3	JUN3	JUL3		
前日終値	14760	14890	14910	15050	15000	15050		
前場1節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	106	
前場2節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
前場3節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
後場1節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	60	
後場2節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	6	
後場3節	14760	14890	14910	15050	15000	15020	505	
前日比	0	0	0	0	0	-30		
出来高	15	15	15	15	15	614		

試験上場中

限月 ハナ枚数	大阪 コメ				
	MAR3	APR3	MAY3	JUN3	JUL3
前日終値	15750	15800	15830	15860	16130
前場1節	15750	15800	15830	15860	16130
前場2節	15750	15800	15830	15850	16140
前場3節	15750	15800	15830	15850	16140
後場1節	15750	15800	15830	15850	16140
後場2節	15750	15800	15830	15850	16140
後場3節	15750	15800	15830	15850	16140
前日比	0	0	0	0	0
出来高	10	12	12	12	12



前日比	0	0	0	0	0
出来高	10	12	12	12	12

平成 25 年 3 月

農林水産省

## 【本資料の目的】

「米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート」は、米先物取引の試験上場について、その価格動向、取引量の動向、取引参加者の状況、その他関連する情報を収集・整理し、これを原則として3か月ごとに公表することによって、米先物取引の試験上場の実施状況について各種情報の提供を行うことを目的としております。

今回のレポートは、平成24年12月から平成25年2月までを主な対象としております。

- 1 本レポートは、今後、必要に応じて追加・削除など内容を変更することがあります。
- 2 本レポートは、情報提供を目的としたもので、商品先物取引その他の取引の推奨、助言等を目的としたものではありません。
- 3 なお、平成25年2月8日に東京穀物商品取引所は取引を停止し、国内の商品取引所が再編されております。また、取引所の再編にあわせ、平成25年2月12日に関西商品取引所は大阪堂島商品取引所に、東京工業品取引所は東京商品取引所に改称されています。本レポートにおいては、従来東京穀物商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（東京において受渡しが行われる米穀）を東京コメ、関西商品取引所（平成25年2月12日以降は大阪堂島商品取引所）で取引されている米穀（大阪において受渡しが行われる米穀）を大阪コメと表記しています。
- 4 このほか、本レポートの利用上の注意、用語解説については、巻末に記載しております。

# 目次

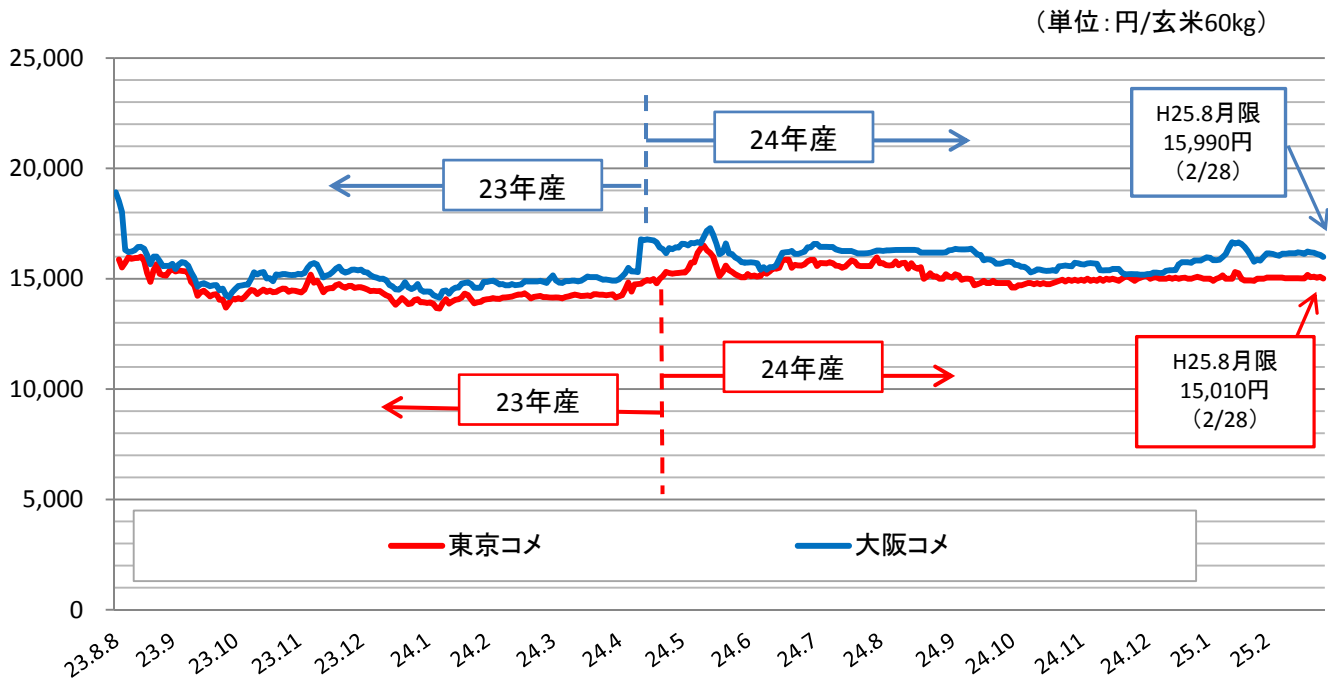
1. 米の先物取引の試験上場の動向（概要）	
（1） 価格の推移（期先限月の終値）	2
（2） 1日の平均出来高の推移	3
（3） 取組高の推移（各月末時点）	4
（4） 現物受渡り量	5
（5） 取引参加者の割合（各月末時点の割合の平均値）	6
（6） 相対取引価格の推移	7
2. 米先物取引の試験上場の現状	
（1） 取引価格の動向	
① 取引価格の推移	10
② 始値、高値、安値、終値の推移（毎週、毎日）	12
③ 値幅制限等の発動状況	15
④ 限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段	16
（2） 取引量の動向	
① 出来高の推移	18
② 1日の平均出来高の推移	20
③ 限月別の出来高状況	20
④ 米穀と他の商品（東商取）の出来高合計の比較	21
（3） 取組高、取引参加者の動向	
① 取組高（東京コメ、大阪コメ合計）の推移	24
② 取組高の推移	24
③ 限月別の取組高の状況	26
④ 米穀と他の商品（東商取）の取組高の推移	28
（4） 現物受渡りの状況	
① 限月別の現物受渡りの状況	29
② 産地品種銘柄の割合	31
（5） 取引参加者の構成	
① 当業者・非当業者の割合	32
② 自己取引、委託取引の割合	33
③ 建玉報告対象者の割合	33
3. 関連情報	
（1） 米の取引価格及び数量	
① 相対取引価格・数量	36
② 小売物価統計による推移	40
（2） 期近限月の終値と自由米価格（スポット価格）の値動き	41
（3） 平成24年産水稻の作柄概況	
① 全国・都道府県別作況指数	42
② 平成24年産水陸稲の収穫量（全国農業地域別）	42
③ 水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）	43
（4） 農産物以外の上場商品及び金融商品等の動向	
① 工業品の動向（東京商品取引所）	44
② 株価の動向（日経平均株価（225種））	47
③ 為替の動向（対米ドル、T T S）	47
4. データ集	
（1） 東京コメの取引価格データ	50
（2） 大阪コメ取引価格データ	53
5. 参考資料	

# 米の試験上場に係るこれまでの主な経過

- 平成23年3月8日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の試験上場の認可申請
- 平成23年7月1日 ・米の試験上場の認可
- 平成23年8月8日 ・取引開始
- 〔 上場期間は取引を開始した日から2年を経過した日まで。ただし、2年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができる。(参考資料P58) 〕
- 平成23年11月10日 ・関西商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、14枚(42t)の現物受渡し
- 平成23年11月18日 ・東京穀物商品取引所で初の納会日(11月限)を迎え、16枚(96t)の現物受渡し
- 平成23年12月13日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第1号)公表
- 平成24年1月4日 ・東京穀物商品取引所が値幅制限(サーキット・ブレーカー)の運用方法を変更(1日に許容する値動き幅を縮小等)
- 平成24年3月19日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第2号)公表
- 平成24年3月30日 ・関西商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産)の価格調整表を制定
- 平成24年4月1日 ・東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が米の受渡しに係る放射性物質の基準値を4月1日以降、100bq/kgとすることを決定(参考資料P59)
- ・東京穀物商品取引所が米の先物取引における受渡地を拡大(参考資料P61)
- ・東京穀物商品取引所が米の先物取引の現物受渡し方法の柔軟化として、合意早受渡し制度を導入(参考資料P62)
- 平成24年4月9日 ・東京穀物商品取引所が平成24年10月～12月限(24年産)の価格調整表を制定
- 平成24年5月29日 ・東京穀物商品取引所が農産物市場の移管の方針を公表(参考資料P65)
- 〔 平成25年2月を目的に、大豆等を東京工業品取引所に、米を関西商品取引所に移管。関連取引所規則も整備(参考資料P66)。なお、日本商品先物振興協会からも、委託者保護の観点から円滑な建玉移管の要請(7月19日、参考資料P68) 〕
- 平成24年6月20日 ・関西商品取引所が平成25年1月限～3月限の価格調整表を制定
- ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第3号)公表
- 平成24年7月6日 ・東京穀物商品取引所が平成25年1月～3月限の価格調整表を制定
- 平成24年9月20日 ・関西商品取引所が平成25年4月～6月限の価格調整表を制定
- 平成24年9月21日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第4号)公表
- 平成24年10月2日 ・東京穀物商品取引所が平成25年4月～6月限の価格調整表を制定
- 平成24年12月13日 ・米先物取引の試験上場に関するシーズンレポート(第5号)公表
- 平成24年12月14日 ・関西商品取引所から大阪堂島商品取引所への名称変更の認可(平成25年2月12日に変更)
- 平成24年12月18日 ・関西商品取引所が平成25年7月～9月限の価格調整表を制定(参考資料P69)
- 平成25年1月15日 ・東京穀物商品取引所が平成25年7月～9月限の価格調整表を制定(参考資料P69)
- 平成25年2月12日 ・国内の3つの商品取引所を2つの商品取引所に再編。
- 〔 東京穀物商品取引所は2月8日に農産物市場の立会を停止し、平成24年5月公表の再編方針に基づき、大豆等を東京商品取引所(旧東京工業品取引所)に、米穀を大阪堂島商品取引所(旧関西商品取引所)に移管。(参考資料P70) 〕

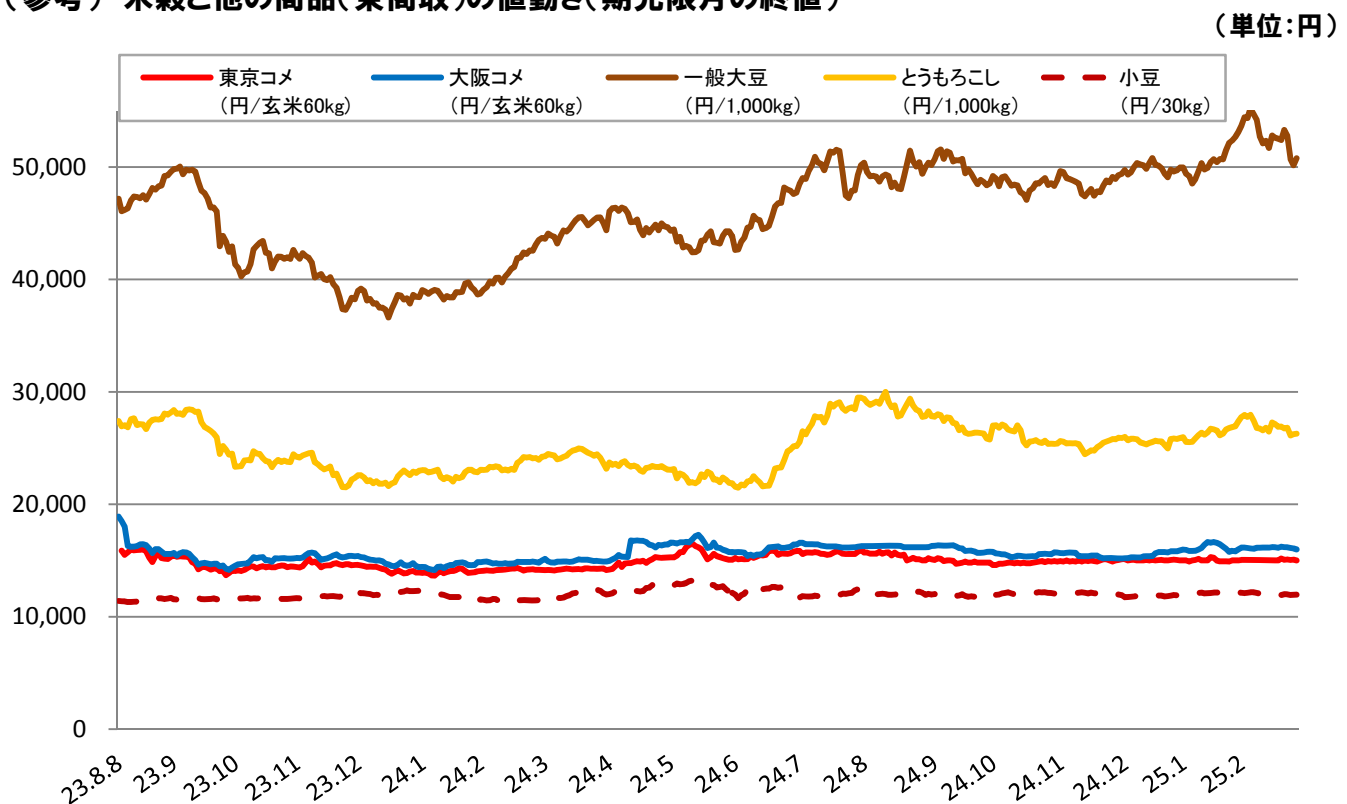
# **1. 米の先物取引の試験上場の動向(概要)**

## (1) 価格の推移(期先限月の終値)



注:各月末時点の価格については、P16を参照。

## (参考) 米穀と他の商品(東商取)の値動き(期先限月の終値)



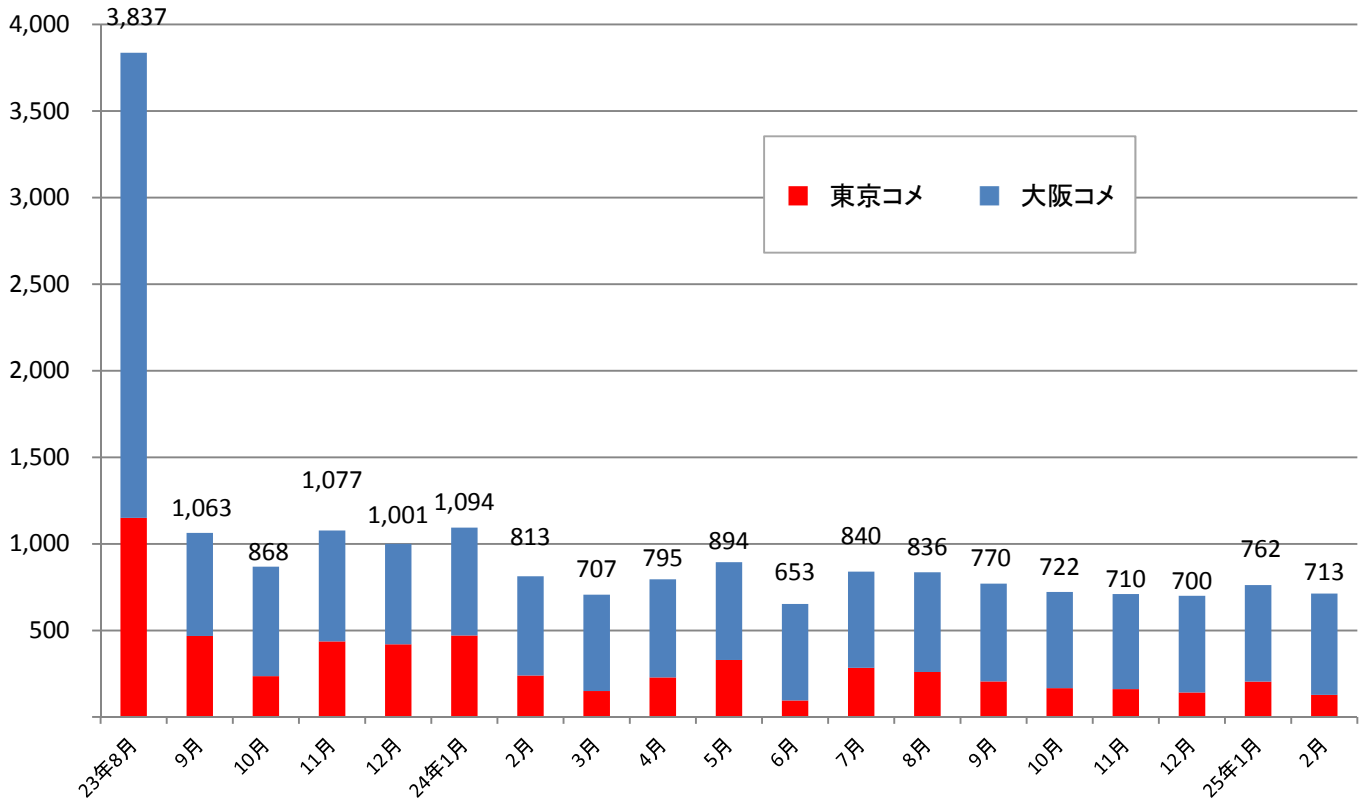
注1:東京コメは東京で受渡しが行われる関東産(茨城、栃木、千葉)コシヒカリ、大阪コメは大阪で受渡しが行われる北陸産(石川、福井)コシヒカリの価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注2:期先限月とは、現物受渡しや売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注3:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

## (2) 1日の平均出来高の推移

(単位:枚)



### (参考) 米穀と他の商品(東商取)の1日平均出来高

(単位:枚)

	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖	
	東京コメ	大阪コメ					
23年8月	3,837	1,150	2,687	3,061	3,231	393	234
9月	1,063	468	595	3,026	3,493	365	166
10月	868	236	632	2,602	3,193	309	150
11月	1,077	437	640	2,303	2,722	467	244
12月	1,001	420	581	1,978	2,080	337	140
24年1月	1,094	471	623	1,824	1,748	443	188
2月	813	240	573	2,599	2,107	547	65
3月	707	150	557	1,921	1,992	585	150
4月	795	229	566	1,816	2,076	599	51
5月	894	329	565	1,545	1,686	592	74
6月	653	96	557	2,970	3,247	488	53
7月	840	284	556	7,626	7,611	240	86
8月	836	260	576	6,122	3,277	141	36
9月	770	206	564	4,119	2,514	198	63
10月	722	167	555	3,485	1,630	134	73
11月	710	161	549	1,940	1,233	169	145
12月	700	142	558	1,937	1,406	131	284
25年1月	762	205	557	2,196	1,259	123	202
2月	713	128	585	2,375	2,077	135	17

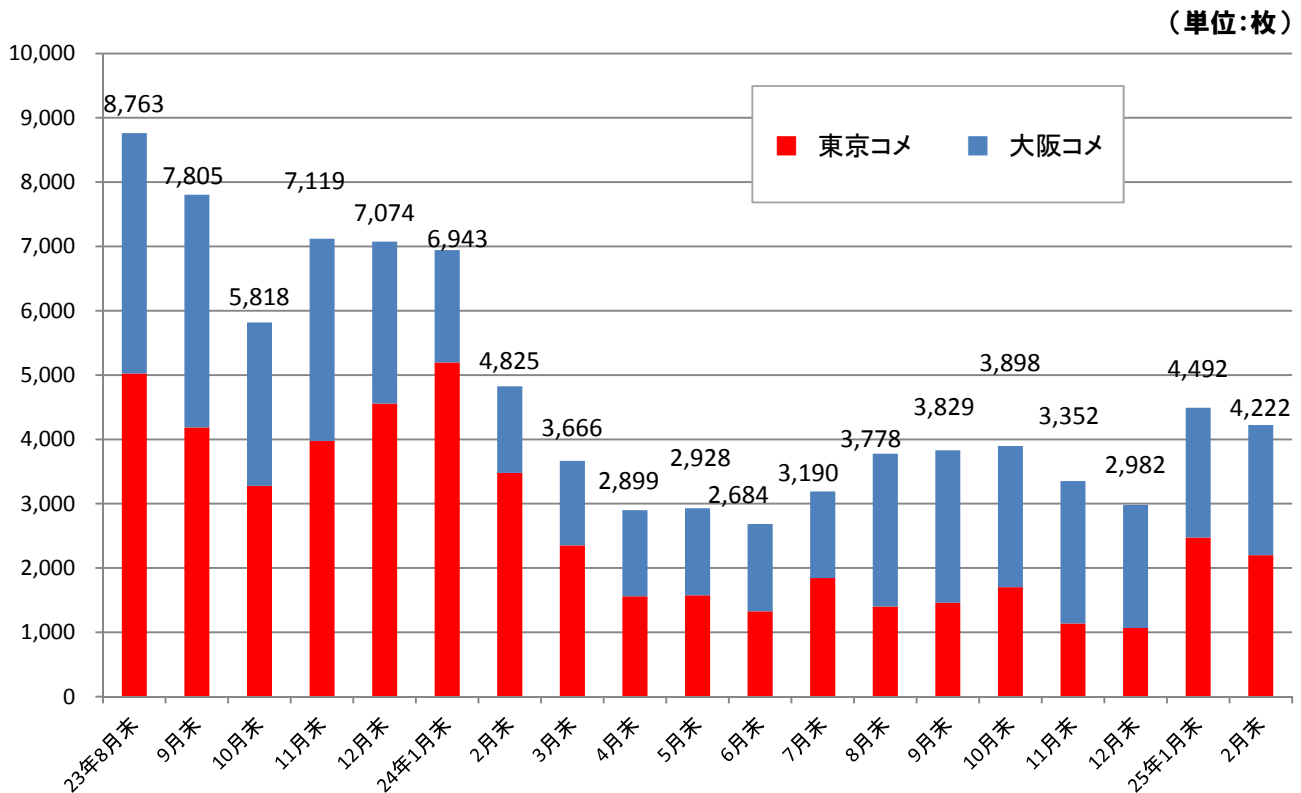
注1: 出来高とは、市場において成立した売買契約の数。

注2: 米については、東京コメは1枚6トン、大阪コメは1枚3トン。他の商品について1枚はとうもろこしは50トン、大豆は10トン、小豆は2.4トン、粗糖は10トン。ただし、粗糖は平成25年11月限以降は50トン。

注3: 平成23年8月については、8月8日～31日の1日平均出来高。

注4: 平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

### (3) 取組高の推移(各月末時点)



### (参考) 米穀と他の商品(東商取)の月末取組高

(単位:枚)

	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖	
	東京コメ	大阪コメ					
平成23年8月末	8,763	5,025	3,738	30,991	31,975	3,785	7,503
9月末	7,805	4,185	3,620	25,853	26,034	3,641	6,392
10月末	5,818	3,278	2,540	25,033	24,752	3,097	5,840
11月末	7,119	3,977	3,142	25,486	26,983	2,799	4,839
12月末	7,074	4,556	2,518	24,695	25,580	2,719	4,822
平成24年1月末	6,943	5,195	1,748	25,041	21,279	3,408	2,123
2月末	4,825	3,479	1,346	24,535	18,851	3,634	1,877
3月末	3,666	2,352	1,314	23,320	18,783	3,278	3,090
4月末	2,899	1,561	1,338	24,209	19,592	4,303	3,009
5月末	2,928	1,575	1,353	24,431	18,243	5,167	2,978
6月末	2,684	1,326	1,358	20,206	22,226	4,148	3,046
7月末	3,190	1,843	1,347	26,438	35,337	3,229	2,442
8月末	3,778	1,400	2,378	28,723	33,246	2,346	2,462
9月末	3,829	1,461	2,368	28,159	24,855	1,376	2,287
10月末	3,898	1,703	2,195	27,373	25,123	1,521	2,721
11月末	3,352	1,137	2,215	24,755	23,602	1,052	2,351
12月末	2,982	1,067	1,915	22,290	19,495	1,304	3,942
平成25年1月末	4,492	2,473	2,019	21,928	16,178	1,493	393
2月末	4,222	2,201	2,021	16,746	15,934	1,730	463

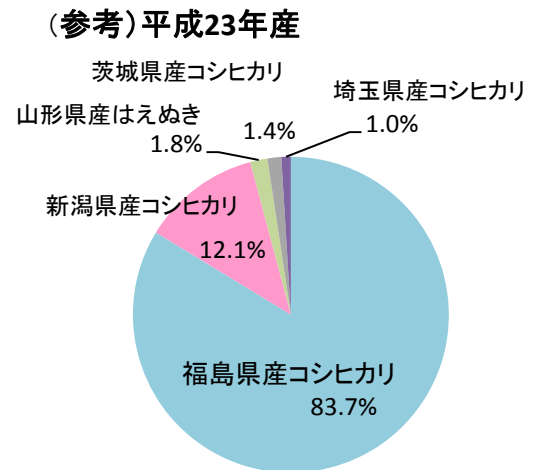
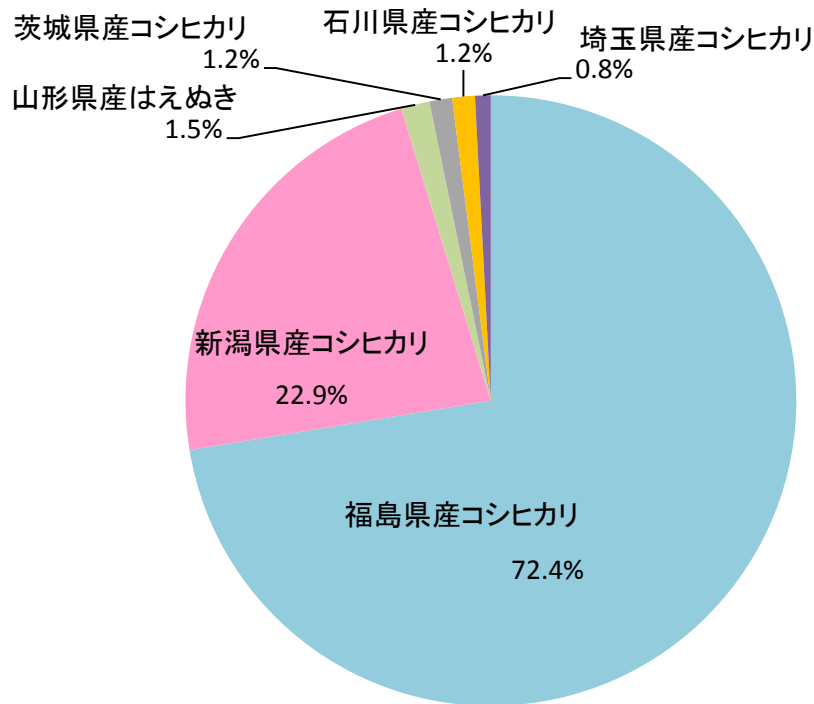
注1:取組高とは、市場において成立した売買契約(将来売買する約束)のうち、まだ現物受渡や売り(買い)戻しが行われず、市場に残っている売買契約の数(売りと買いセットで1枚とカウント)。

注2:米については、東京コメは1枚6トン、大阪コメは1枚3トン。他の商品について1枚はとうもろこしは50トン、大豆は10トン、小豆は2.4トン、粗糖は10トン。ただし、粗糖は平成25年11月限以降は50トン。

注3:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。



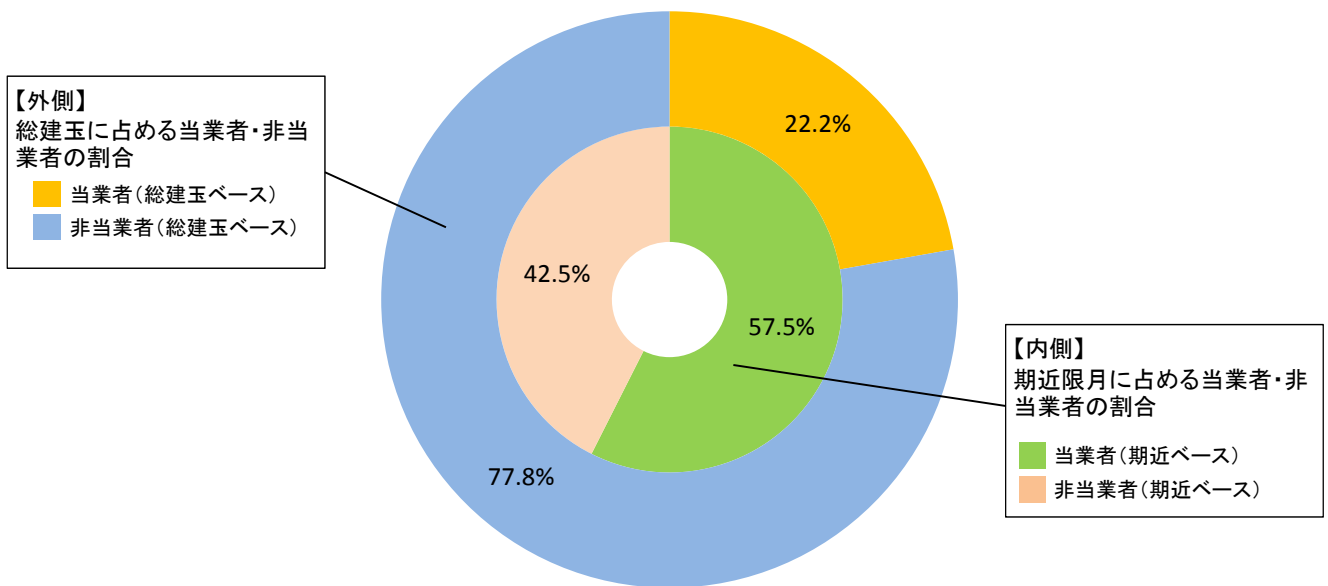
(4) 現物受渡量(平成23年8月8日～平成25年2月28日までの累積)



銘柄	取引枚数(玄米重量)		
	東京コメ	大阪コメ	合計
コシヒカリ(福島県産)	334枚 (2,004トン)	295枚 (885トン)	629枚 (2,889トン)
コシヒカリ(新潟県産)	116枚 (696トン)	72枚 (216トン)	188枚 (912トン)
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	-	10枚 (60トン)
コシヒカリ(茨城県産)	8枚 (48トン)	-	8枚 (48トン)
コシヒカリ(石川県産)	-	16枚 (48トン)	16枚 (48トン)
コシヒカリ(埼玉県産)	-	11枚 (33トン)	11枚 (33トン)
平成23年8月8日以降の累積値	468枚 (2,808トン)	394枚 (1,182トン)	862枚 (3,990トン)

注:平成25年2月28日までの累積値。

(5) 取引参加者の割合(各月末時点の割合の平均値(平成25年2月まで))



		東京コメ		大阪コメ		合計	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末時点の割合の平均値 (平成25年2月まで)	総建玉に占める割合	32.9%	67.1%	14.3%	85.7%	22.2%	77.8%
	期近限月に占める割合	56.8%	43.2%	43.8%	56.2%	57.5%	42.5%
平成24年12月末	総建玉に占める割合	73.6%	26.4%	13.3%	86.7%	34.9%	65.1%
	期近限月に占める割合	96.8%	3.2%	28.6%	71.4%	94.7%	5.3%
平成25年1月末	総建玉に占める割合	41.9%	58.1%	14.8%	85.2%	29.7%	70.3%
	期近限月に占める割合	90.3%	9.7%	80.6%	19.4%	85.5%	14.5%
2月末	総建玉に占める割合	15.5%	84.5%	15.1%	84.9%	15.3%	84.7%
	期近限月に占める割合	79.2%	20.8%	83.3%	16.7%	81.0%	19.0%

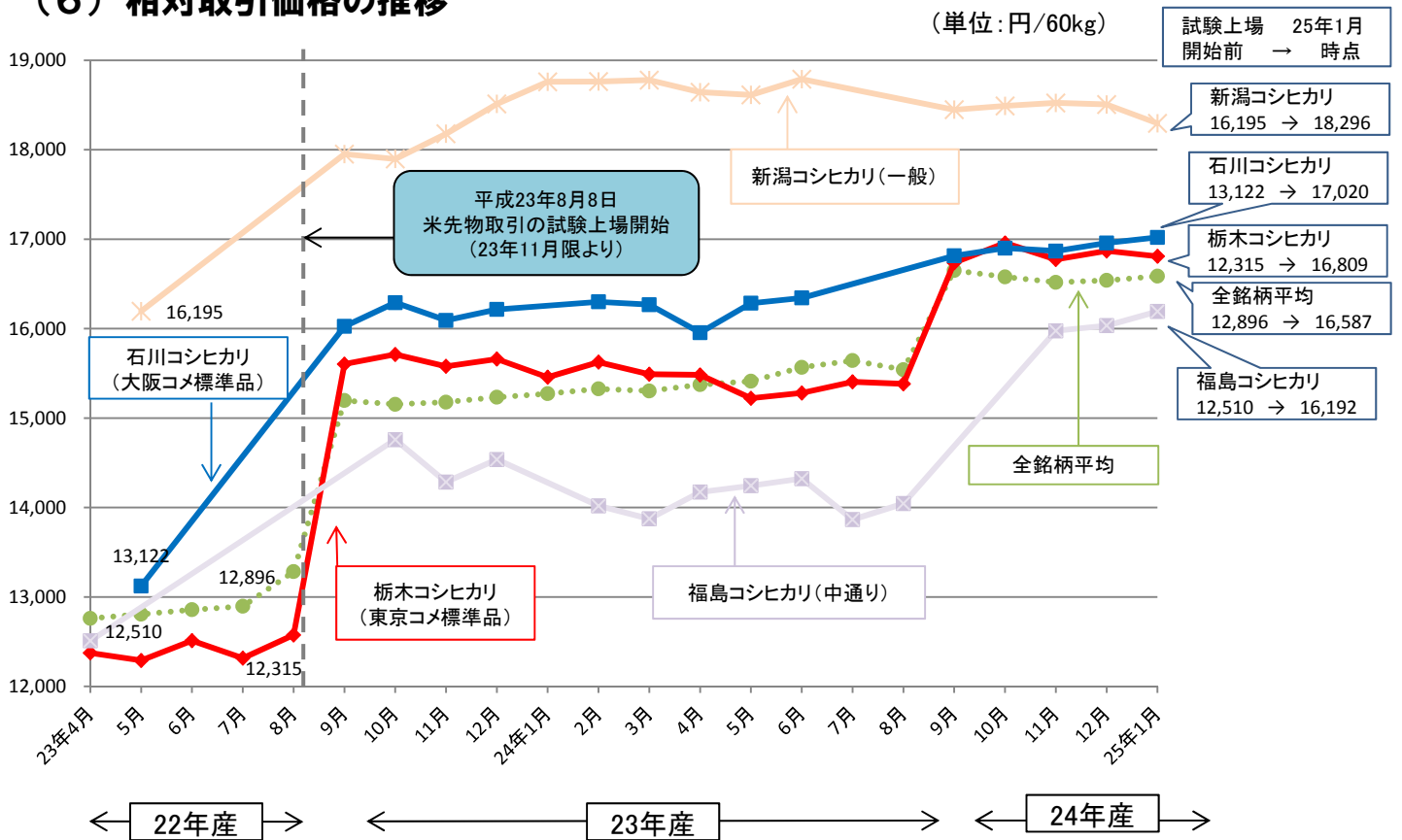
注1:取引所において把握している当業者・非当業者の割合。

注2:総建玉とは、市場において成立した売買契約のうち、まだ現物受渡や売り(買い)戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数(売りと買いそれぞれ1枚とカウント)。また期近限月とは、現物受渡や売買取引の期限がその時点から最も近い月。

注3:当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

注4:総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

## (6) 相対取引価格の推移



(単位: 円/60kg)

		全銘柄平均	栃木コシヒカリ	石川コシヒカリ	福島コシヒカリ(中通り)	新潟コシヒカリ(一般)
22年産	平成23年4月	12,760	12,374	-	12,510	-
	平成23年5月	12,807	12,290	13,122	-	16,195
	平成23年6月	12,857	12,512	-	-	-
	平成23年7月	12,896	12,315	-	-	-
	平成23年8月	13,283	12,575	-	-	-
23年産	平成23年9月	15,196	15,604	16,025	-	17,952
	平成23年10月	15,154	15,712	16,290	14,759	17,897
	平成23年11月	15,178	15,579	16,092	14,285	18,178
	平成23年12月	15,233	15,660	16,215	14,537	18,512
	平成24年1月	15,273	15,457	-	-	18,760
	平成24年2月	15,327	15,626	16,300	14,019	18,762
	平成24年3月	15,303	15,490	16,268	13,874	18,779
	平成24年4月	15,374	15,482	15,955	14,173	18,643
	平成24年5月	15,412	15,222	16,284	14,244	18,613
	平成24年6月	15,567	15,281	16,343	14,323	18,789
24年産	平成24年7月	15,643	15,405	-	13,865	-
	平成24年8月	15,541	15,382	-	14,044	-
	平成24年9月	16,650	16,737	16,814	-	18,448
	平成24年10月	16,579	16,958	16,900	-	18,490
	平成24年11月	16,518	16,773	16,867	15,976	18,523
平成24年12月	16,540	16,869	16,958	16,034	18,506	
平成25年1月	16,587	16,809	17,020	16,192	18,296	

注1: 相対取引価格は、ア. 全国出荷団体、イ. 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ. 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

注2: 相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引が適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

注3: 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

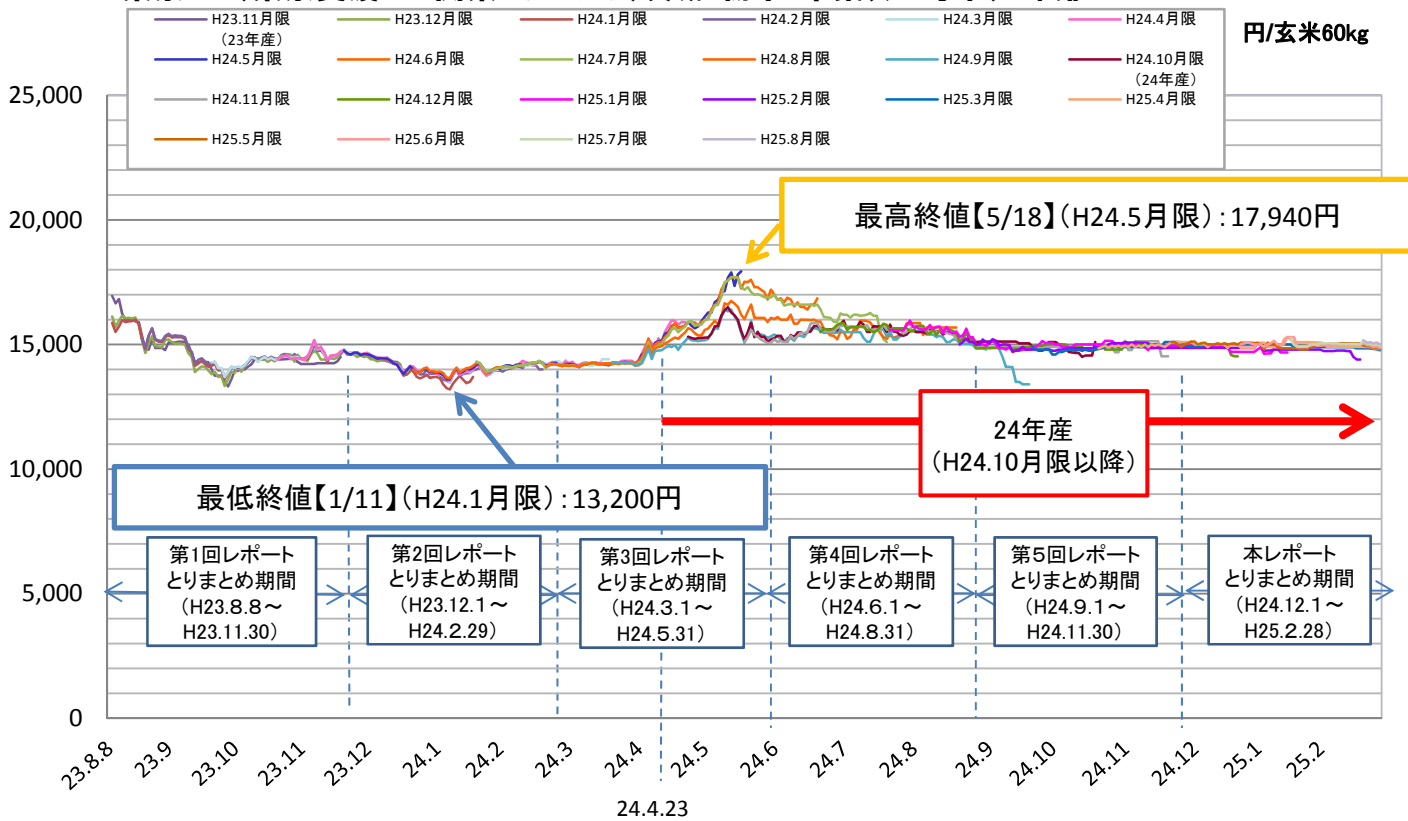


## **2. 米先物取引の試験上場の現状**

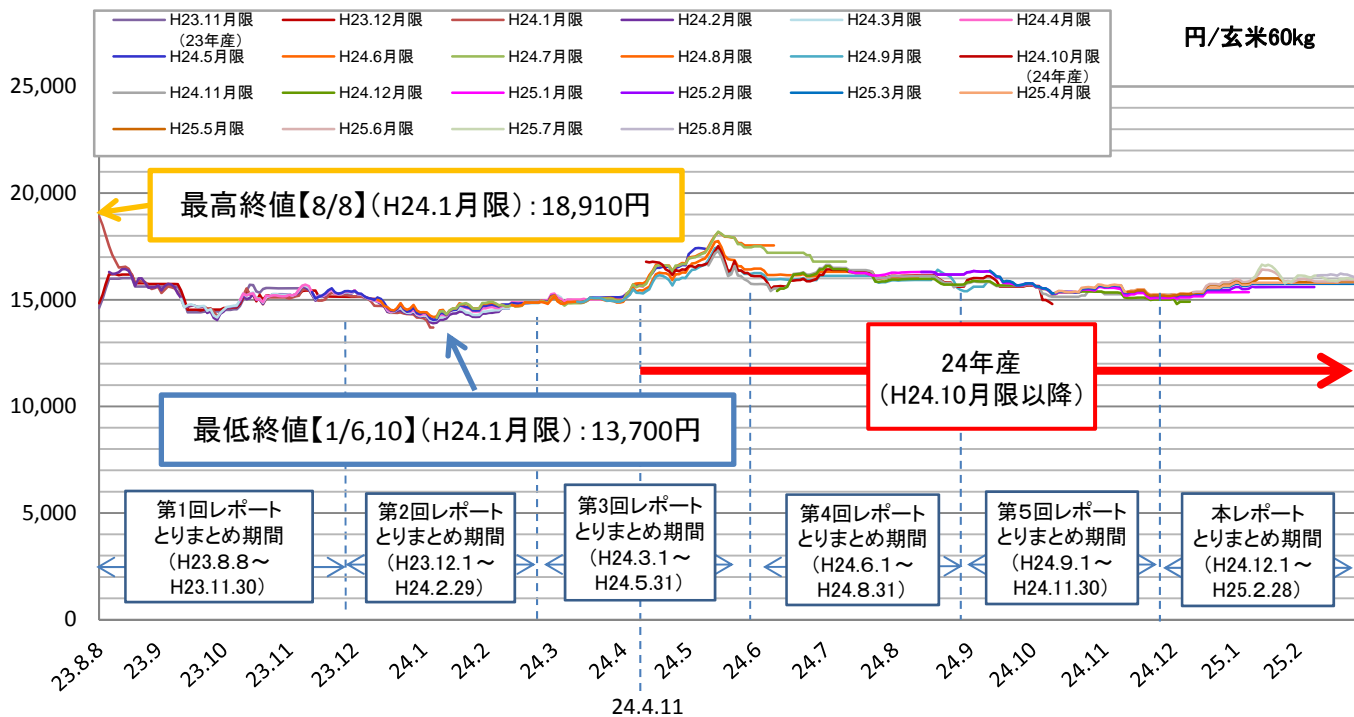
# (1) 取引価格の動向

## ①-1 取引価格の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

### ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



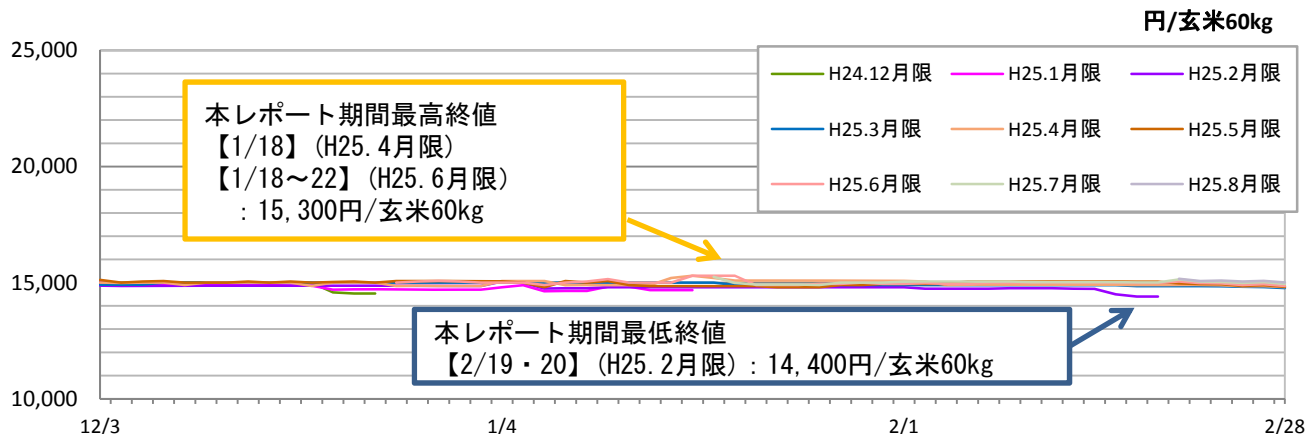
### イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値



- 注1：価格は、平成23年8月8日から平成25年2月28日までの終値。ただし、東京コメの場合、平成25年2月8日までは終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。
- 注2：取引所が指定する倉庫の置き場渡し価格（包装代込み、消費税抜き。以下、米穀の先物取引の価格について同じ。）。
- 注3：月限とは、売買契約を決済しなければならない期限の月。
- 注4：H23.11月限～H24.9月限までは23年産米、H24.10月限以降は24年産米を標準品として取引。

①-2 取引価格の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

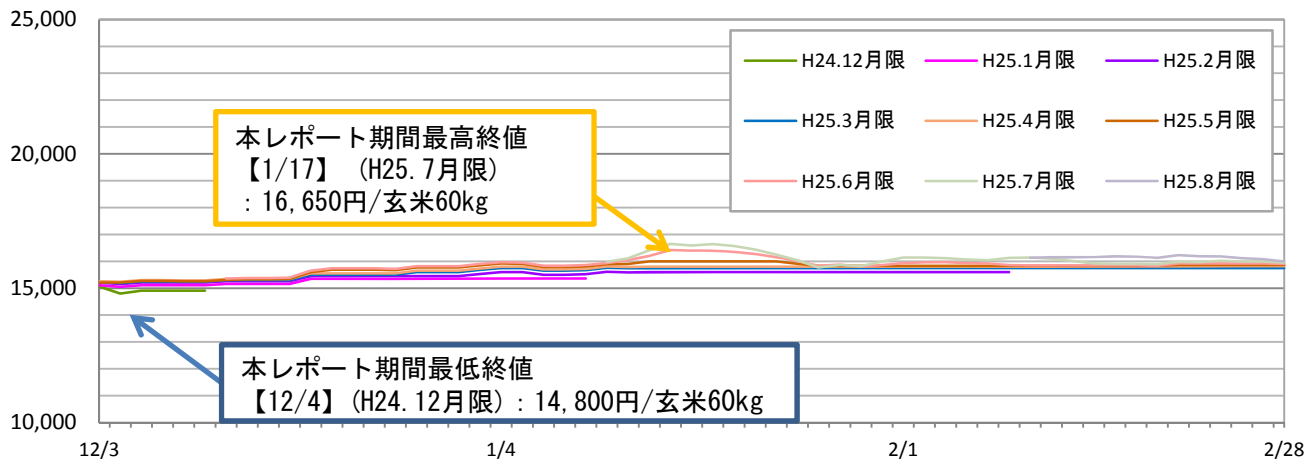
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)の終値



	12月3日	12月28日	1月31日	2月28日	最高(年月日)	最低(年月日)
H24.12月限	15,000				15,000(24.12.3～11)	14,530(24.12.19・20)
H25.1月限	15,000	14,700			15,000(24.12.3)	14,630(25.1.8)
H25.2月限	14,870	14,860	14,800		15,050(25.1.4)	14,400(25.2.19・20)
H25.3月限	14,910	15,000	14,900	14,770	15,000 (24.12.6～25.1.21)	14,770(25.2.28)
H25.4月限	15,000	14,860	15,080	14,810	15,300(25.1.18)	14,810(25.2.28)
H25.5月限	15,120	15,060	14,950	14,820	15,120(24.12.3)	14,800(25.1.8・24～28)
H25.6月限		15,000	14,950	14,860	15,300(25.1.18～22)	14,860(25.2.28)
H25.7月限			15,000	14,950	15,250(25.1.21)	14,900(25.1.28)
H25.8月限				15,010	15,170(25.2.21)	15,010(25.2.28)

イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)の終値

円/玄米60kg



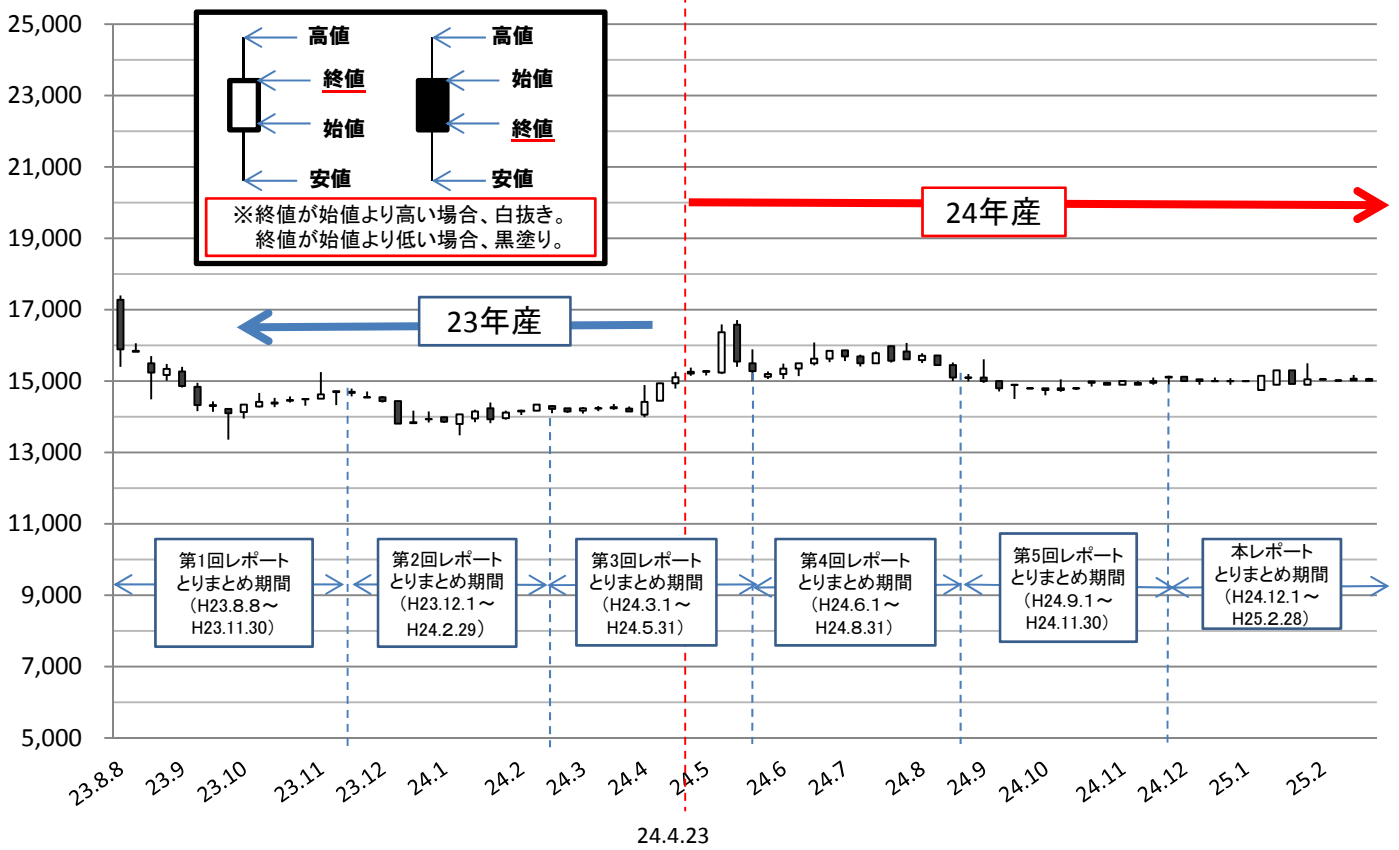
	12月3日	12月28日	1月31日	2月28日	最高(年月日)	最低(年月日)
H24.12月限	15,060				15,060(24.12.3)	14,800(24.12.4)
H25.1月限	15,110	15,360			15,360 (24.12.28～25.1.10)	15,050(24.12.4)
H25.2月限	15,210	15,530	15,600		15,610(25.1.11)	15,150(24.12.4)
H25.3月限	15,250	15,680	15,750	15,750	15,760(25.1.11)	15,190(24.12.4)
H25.4月限	15,260	15,730	15,800	15,820	15,820(25.2.21～28)	15,240(24.12.4)
H25.5月限	15,210	15,850	15,830	15,870	16,000(25.1.16～24)	15,210(24.12.3・4)
H25.6月限		15,900	15,860	15,900	16,420(25.1.17)	15,360(24.12.11)
H25.7月限			15,990	15,950	16,650(25.1.17)	15,770(25.1.28)
H25.8月限				15,990	16,230(25.2.21)	15,990(25.2.28)

注：価格は、平成24年12月1日から平成25年2月28日までの終値。ただし、東京コメの場合、平成25年2月8日までは終値又は取引終了までの一定時間内に成立した取引価格により一定の方法で算出した価格（帳入値）。

②-1 毎週の始値、高値、安値、終値の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

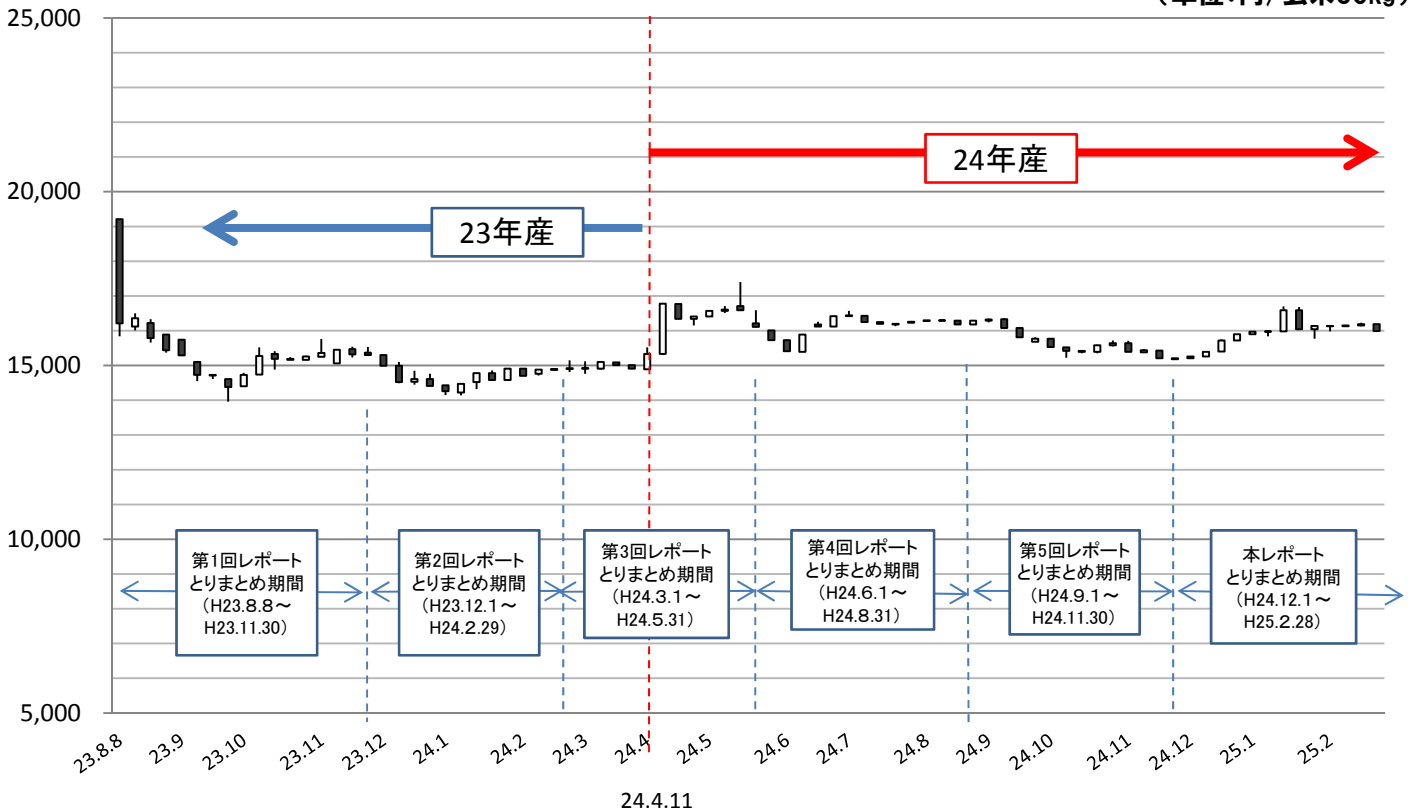
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



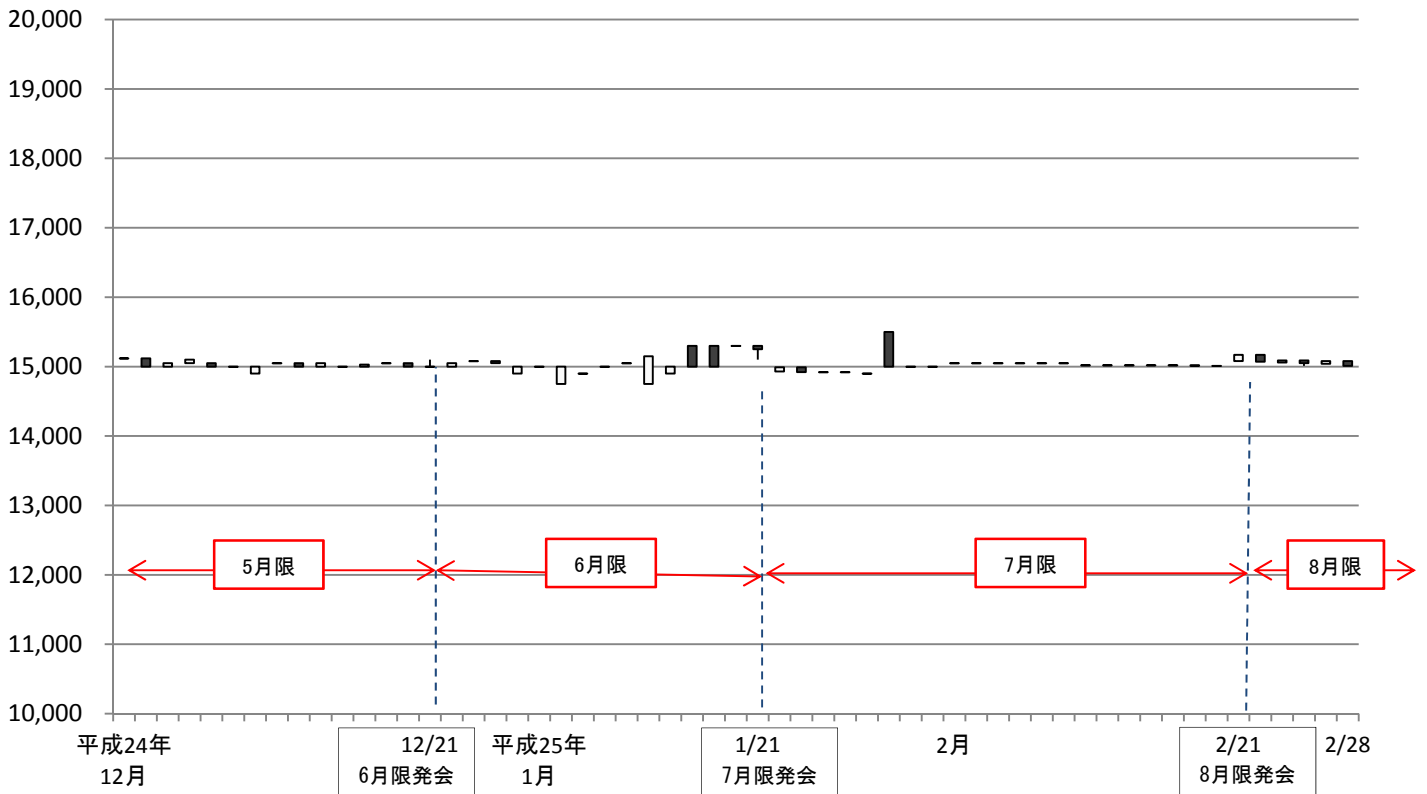
注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の1週間の始値(東京コメの場合、平成25年2月8日までは、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。大阪堂島商品取引所の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京コメの場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)



②-2 毎日の始値、高値、安値、終値の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

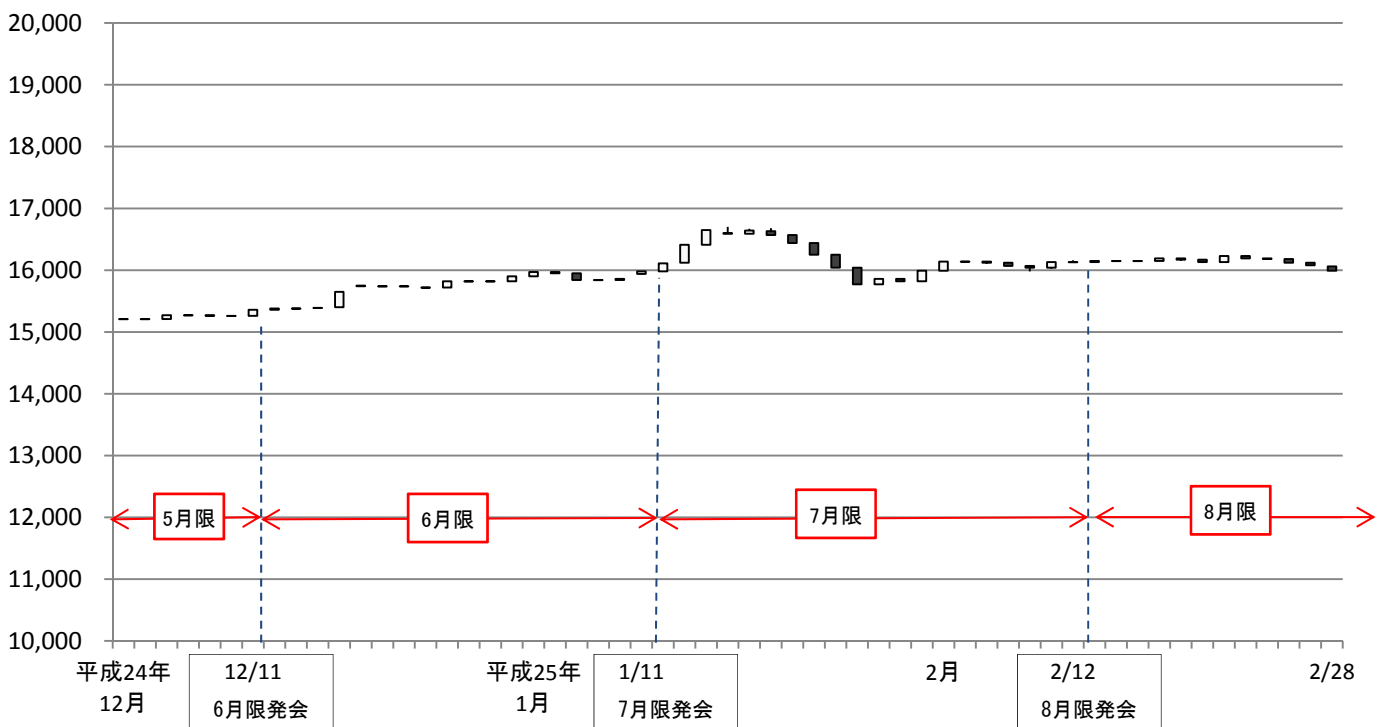
ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)



イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米、期先限月)

(単位:円/玄米60kg)

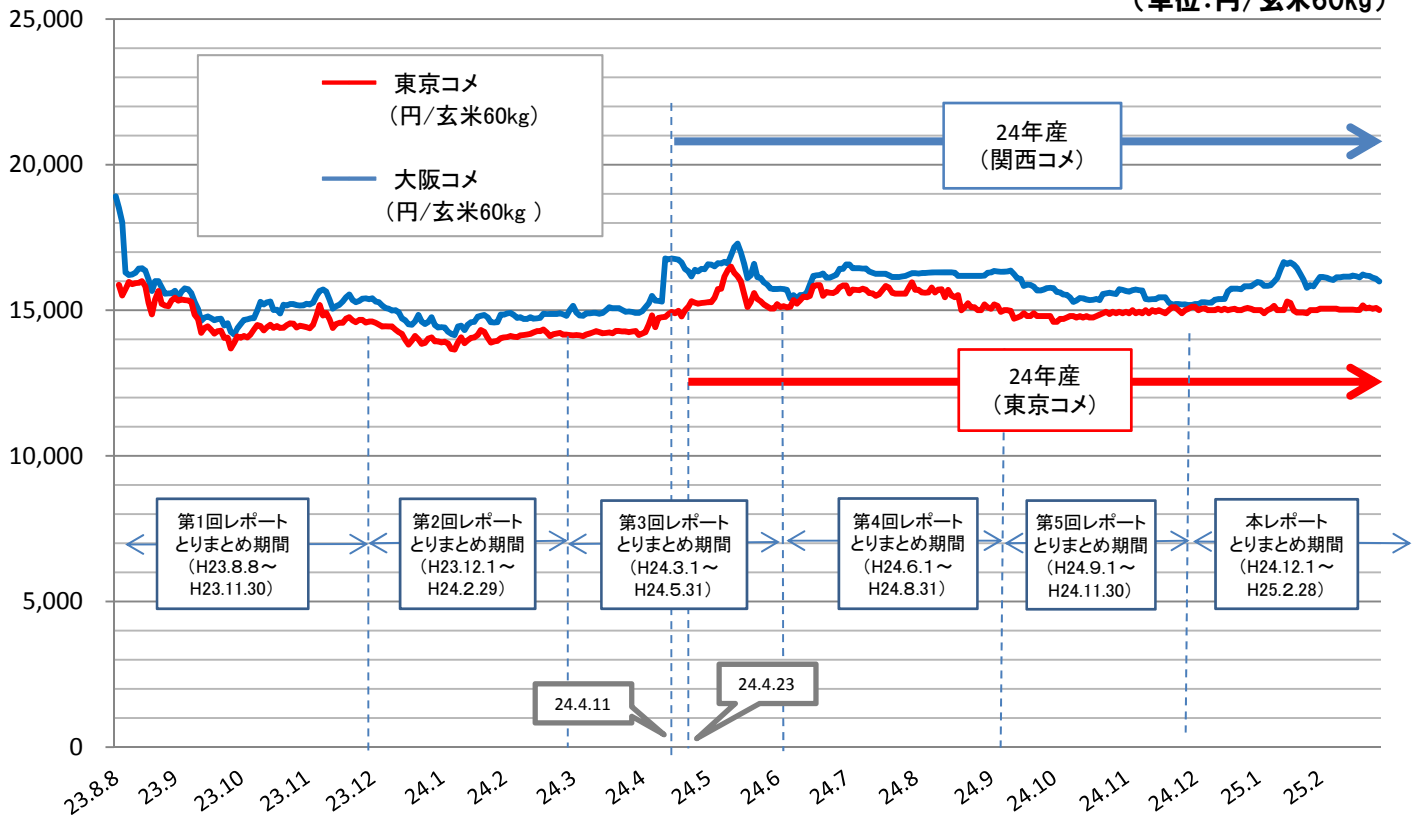


注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の1日の始値(東京コメの場合、平成25年2月8日までは、1日の計算区域が、前営業日の夜間取引+当日の日中取引であり、夜間取引・日中取引を通じて最初に成立した値段。大阪堂島商品取引所の場合、前場1節において成立した値段。)、高値、安値、終値(東京コメの場合、終値又は帳入値)の推移を表している(新たな期先限月の取引開始後は当該限月の値段に切り替え。)

(参考) 東京コメ・大阪コメの値動き(期先限月の終値)

【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:円/玄米60kg)



(参考) 各月末時点での期先限月の終値

(単位:円/玄米60Kg)

		東京コメ	大阪コメ
23年産	平成23年8月	15,340	15,580
	9月	14,100	14,380
	10月	14,450	15,170
	11月	14,610	15,380
	12月	13,930	14,410
	平成24年1月	14,040	14,850
	2月	14,150	15,000
24年産	3月	14,150	14,910
	4月	15,260	16,410
	5月	15,060	15,730
	6月	15,850	16,420
	7月	15,960	16,270
	8月	15,100	16,290
	9月	14,800	15,770
	10月	14,900	15,700
	11月	15,120	15,180
	12月	15,000	15,900
平成25年1月	15,000	15,990	
2月	15,010	15,990	

注:最終的に決済しなければならない期日が最も先の限月(期先限月)の終値又は帳入値。

### ③ 値幅制限等の発動状況【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

#### ア 東京コメ(平成25年2月8日までサーキットブレーカー(CB)、2月12日以降は値幅制限)

年月(営業日数)	発動数	発動日数	1日平均発動回数
平成23年8月(18日)	68回	13日	3.78
9月(20日)	8回	8日	0.40
10月(20日)	2回	2日	0.10
11月(20日)	5回	5日	0.25
12月(21日)	1回	1日	0.05
平成24年1月(19日)	7回	2日	0.37
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	27回	10日	1.35
5月(21日)	41回	15日	1.95
6月(21日)	10回	9日	0.48
7月(21日)	11回	10日	0.52
8月(23日)	7回	7日	0.30
9月(19日)	8回	7日	0.42
10月(22日)	2回	2日	0.09
11月(21日)	6回	4日	0.19
12月(19日)	1回	1日	0.05
平成25年1月(19日)	6回	5日	0.32
2月(6日)	1回	1日	0.17

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均到達回数
2月(13日)	0回	0日	0.00

(注)平成24年1月4日より、CB運用方法を変更。

(注)平成25年2月12日以降、値幅制限。

#### イ 大阪コメ(値幅制限)

年月(営業日数)	制限到達回数	制限到達日数	1日平均到達回数
平成23年8月(18日)	19回	9日	1.06
9月(20日)	12回	6日	0.60
10月(20日)	10回	5日	0.50
11月(20日)	2回	2日	0.10
12月(21日)	0回	0日	0.00
平成24年1月(19日)	0回	0日	0.00
2月(21日)	0回	0日	0.00
3月(21日)	0回	0日	0.00
4月(20日)	8回	3日	0.40
5月(21日)	10回	5日	0.48
6月(21日)	4回	4日	0.19
7月(21日)	0回	0日	0.00
8月(23日)	1回	1日	0.04
9月(19日)	0回	0日	0.00
10月(22日)	1回	1日	0.05
11月(21日)	0回	0日	0.00
12月(19日)	0回	0日	0.00
平成25年1月(19日)	1回	1日	0.05
2月(19日)	0回	0日	0.00

注1:東京コメは、平成23年12月30日まではサーキットブレーカー(CB)発動回数。平成24年1月4日から平成25年2月8日までは、CBが発動した限月数。平成25年2月12日以降は、それまでのザラバ式(複数約定値段方式)から板寄せ式(単一約定値段方式)に変更されたことに伴い、終値が値幅制限に達した限月数。

注2:大阪コメは、終値が値幅制限に達した限月数。

注3:CBとは、値動きが一定幅に達した場合に、取引を一時停止し、市場の過熱を抑える仕組み。

注4:東京コメでは、平成23年12月30日までは、1つの限月でCBが発動された場合、自動的に全ての限月でCBが発動されていたが、平成24年1月4日からは、値段が±600円(ただし、1回目は±300円)上昇又は下降した限月に限定してCBが発動する方式に変更。併せて、取引の停止時間を10分間から5分間に短縮。

注5:値幅制限とは、値動きが一定幅に達した場合に、その上限を超える又は下限を下回る価格で取引を成立させない仕組み。平成25年2月28日現在では、大阪堂島商品取引所の1日の値幅は、最大で±500円/60kg以内(通常、±300円/60kg。その後、順次±400円/60kg、±500円/60kgに拡大。)

注6:CB・値幅制限の幅、適用・解除時期は商品ごとに異なり、CB・値幅制限の幅については、商品の値動き等を勘案し、取引所が変更することがあり得る。また、異常な価格変動が生じた場合等は、商品先物取引法第118条第2号の規定に基づく主務大臣の命令により取引所が制限幅を変更。

④ 限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段

ア 東京コメ(東京受渡しの関東コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段】

(単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	2月末現在値段 (年月日)
23年11月限	17,400 (23.08.09)	17,730 (23.08.10)	13,320 (23.09.29)	14,500 (23.11.18)	取引終了
23年12月限	17,400 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,200 (23.09.29)	13,900 (23.12.20)	取引終了
24年1月限	17,280 (23.08.09)	17,400 (23.08.09)	13,120 (24.01.11)	13,700 (24.01.20)	取引終了
24年2月限	15,500 (23.08.22)	15,700 (23.08.26)	13,350 (23.09.29)	14,000 (24.02.20)	取引終了
24年3月限	14,200 (23.09.21)	15,240 (23.11.09)	13,360 (23.09.29)	14,410 (24.03.19)	取引終了
24年4月限	14,330 (23.10.21)	15,980 (24.04.16・17)	13,380 (24.01.11)	15,900 (24.04.20)	取引終了
24年5月限	14,700 (23.11.21)	17,940 (24.05.17・18)	13,440 (24.01.11)	17,940 (24.05.18)	取引終了
24年6月限	14,170 (23.12.21)	17,900 (24.05.15)	13,480 (24.01.11)	16,850 (24.06.20)	取引終了
24年7月限	14,240 (24.01.23)	17,700 (24.05.16,17)	13,820 (24.01.26)	15,100 (24.07.20)	取引終了
24年8月限	14,200 (24.02.21)	16,940 (24.05.16)	14,090 (24.03.07,24.04.02)	15,680 (24.08.20)	取引終了
24年9月限	14,200 (24.03.21)	16,690 (24.05.14)	13,400 (24.09.18・19)	13,400 (24.09.20)	取引終了
24年10月限	15,210 (24.04.23)	16,710 (24.05.15)	14,460 (24.10.17)	15,100 (24.10.19)	取引終了
24年11月限	15,500 (24.05.21)	16,080 (24.06.19)	14,530 (24.11.16)	14,530 (24.11.20)	取引終了
24年12月限	15,900 (24.06.21)	15,900 (24.06.21)	14,500 (24.12.18)	14,530 (24.12.20)	取引終了
25年1月限	15,980 (24.07.23)	16,070 (24.07.31)	14,630 (25.01.08)	14,680 (25.01.18)	取引終了
25年2月限	15,000 (24.08.21)	15,610 (24.09.04)	14,390 (25.02.19)	14,400 (25.02.20)	取引終了
25年3月限	14,500 (24.09.21)	15,100 (24.11.19~26)	14,500 (24.09.21)	取引継続中	14,770 (25.02.28)
25年4月限	14,990 (24.10.22)	15,300 (25.01.17~21)	14,810 (25.02.28)	取引継続中	14,810 (25.02.28)
25年5月限	15,100 (24.11.21)	15,150 (24.11.30)	14,800 (25.01.08・24~28)	取引継続中	14,820 (25.02.28)
25年6月限	15,000 (24.12.21)	15,300 (25.01.16~22)	14,750 (25.01.07・11)	取引継続中	14,860 (25.02.28)
25年7月限	15,300 (25.01.21)	15,500 (25.01.29)	14,900 (25.01.28)	取引継続中	14,950 (25.02.28)
25年8月限	15,080 (25.02.21)	15,170 (25.02.21・22)	15,010 (25.02.26・28)	取引継続中	15,010 (25.02.28)
全期間		17,940 (24.05.17・18)	13,120 (24.01.11)		

  : 全レポート期間最高値

  : 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P11に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

注2:また、納会・2月末値段は、平成25年2月28日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成25年2月限については納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成25年3月限~平成25年8月限(青塗り)については平成25年2月28日現在の終値(ただし、東京コメの場合は、終値又は帳入値。)

イ 大阪コメ(大阪受渡しの北陸コシヒカリ(石川・福井)、1等米)

【限月別の発会値段、最高値段、最低値段及び納会値段又は2月末値段】 (単位:円/玄米60kg)

限月	発会値段 (年月日)	最高値段 (年月日)	最低値段 (年月日)	納会値段 (年月日)	2月末現在値段 (年月日)
23年11月限	14,320 (23.08.08)	16,060 (23.08.17)	14,320 (23.08.08)	15,540 (23.11.10)	取引終了
23年12月限	14,540 (23.08.08)	16,240 (23.08.11)	14,500 (23.09.21・22)	15,040 (23.12.09)	取引終了
24年1月限	19,210 (23.08.08)	19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)	13,700 (24.01.10)	取引終了
24年2月限	15,840 (23.08.11)	16,500 (23.08.17)	13,860 (23.09.29)	14,580 (24.02.10)	取引終了
24年3月限	15,100 (23.09.12)	15,740 (23.11.08)	13,960 (23.09.29)	14,930 (24.03.09)	取引終了
24年4月限	14,740 (23.10.11)	15,760 (23.11.08・09)	14,070 (24.01.10・11)	15,610 (24.04.10)	取引終了
24年5月限	15,640 (23.11.11)	17,440 (24.05.08)	14,060 (24.01.10・11)	17,390 (24.05.10)	取引終了
24年6月限	14,990 (23.12.12)	18,460 (24.05.17)	14,150 (24.01.06)	17,550 (24.6.08)	取引終了
24年7月限	14,190 (24.01.11)	18,480 (24.05.17)	14,140 (24.01.11)	16,790 (24.7.10)	取引終了
24年8月限	14,760 (24.02.13)	17,800 (24.05.17)	14,710 (24.02.14・15)	16,050 (24.8.10)	取引終了
24年9月限	14,910 (24.03.12)	17,500 (24.05.17)	14,880 (24.03.13)	15,810 (24.09.10)	取引終了
24年10月限	16,790 (24.04.11)	17,550 (24.05.17)	14,800 (24.10.10)	14,800 (24.10.10)	取引終了
24年11月限	16,710 (24.05.11)	17,400 (24.05.16)	15,140 (24.10.10~23)	15,190 (24.11.09)	取引終了
24年12月限	15,390 (24.06.11)	16,570 (24.07.02・03)	14,800 (24.12.04・05)	14,910 (24.12.10)	取引終了
25年1月限	16,430 (24.07.11)	16,430 (24.07.11)	15,050 (24.12.04・05)	15,360 (25.01.10)	取引終了
25年2月限	16,300 (24.08.13)	16,350 (24.09.04・05)	15,150 (24.12.04・05)	15,600 (25.02.08)	取引終了
25年3月限	16,350 (24.09.11)	16,360 (24.09.11・12)	15,190 (24.12.04・05)	取引継続中	15,750 (25.02.28)
25年4月限	15,290 (24.10.11)	15,820 (25.02.21~28)	15,230 (24.11.29・30)	取引継続中	15,820 (25.02.28)
25年5月限	15,380 (24.11.12)	16,000 (25.01.16~25)	15,180 (24.11.29・30)	取引継続中	15,870 (25.02.28)
25年6月限	15,260 (24.12.11)	16,520 (25.01.18)	15,260 (24.12.11)	取引継続中	15,900 (25.02.28)
25年7月限	15,940 (25.01.11)	16,700 (25.01.18)	15,770 (25.01.28・29)	取引継続中	15,950 (25.02.28)
25年8月限	16,130 (25.02.12)	16,230 (25.02.21・22)	15,990 (25.02.28)	取引継続中	15,990 (25.02.28)
全期間		19,210 (23.08.08)	13,700 (24.01.06・10)		

: 全レポート期間最高値

: 全レポート期間最安値

注1:発会値段とは、発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは11日(休業日の場合は繰り下げ。))において取引が成立した最初の値段である。また、最高値段及び最低値段は各期間中に成立した最高及び最低の値段であり、P11に記載した終値の最高及び最低とは異なる。

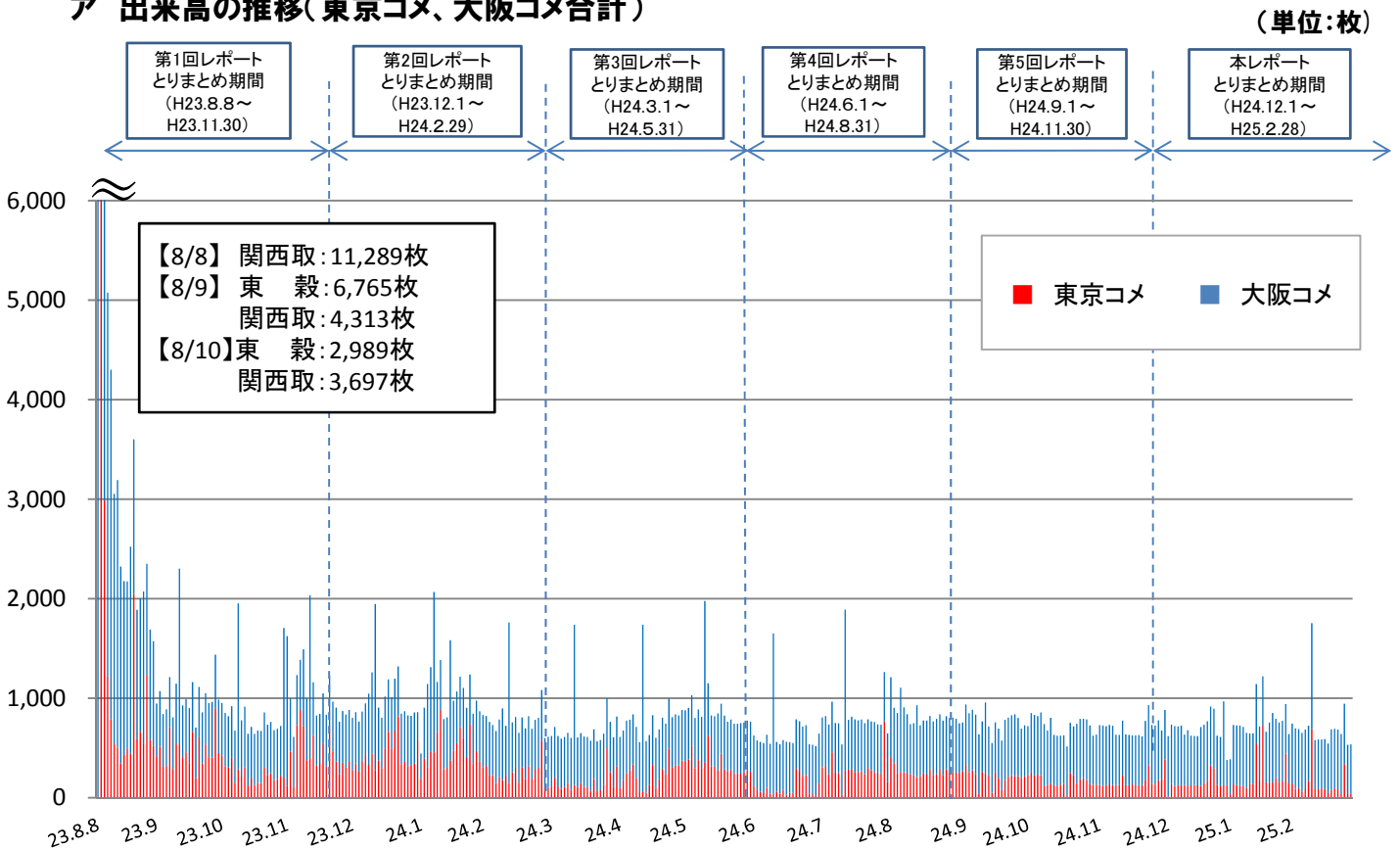
注2:また、納会・2月末値段は、平成25年2月28日現在において、取引が終了している平成23年11月限~平成25年2月限については納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))の終値であり、取引が継続中である平成25年3月限~平成25年8月限(青塗り)については平成25年2月28日現在の終値(ただし、東京コメの場合は、終値又は帳入値。)

## (2) 取引量の動向

### ①-1 出来高の推移

【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

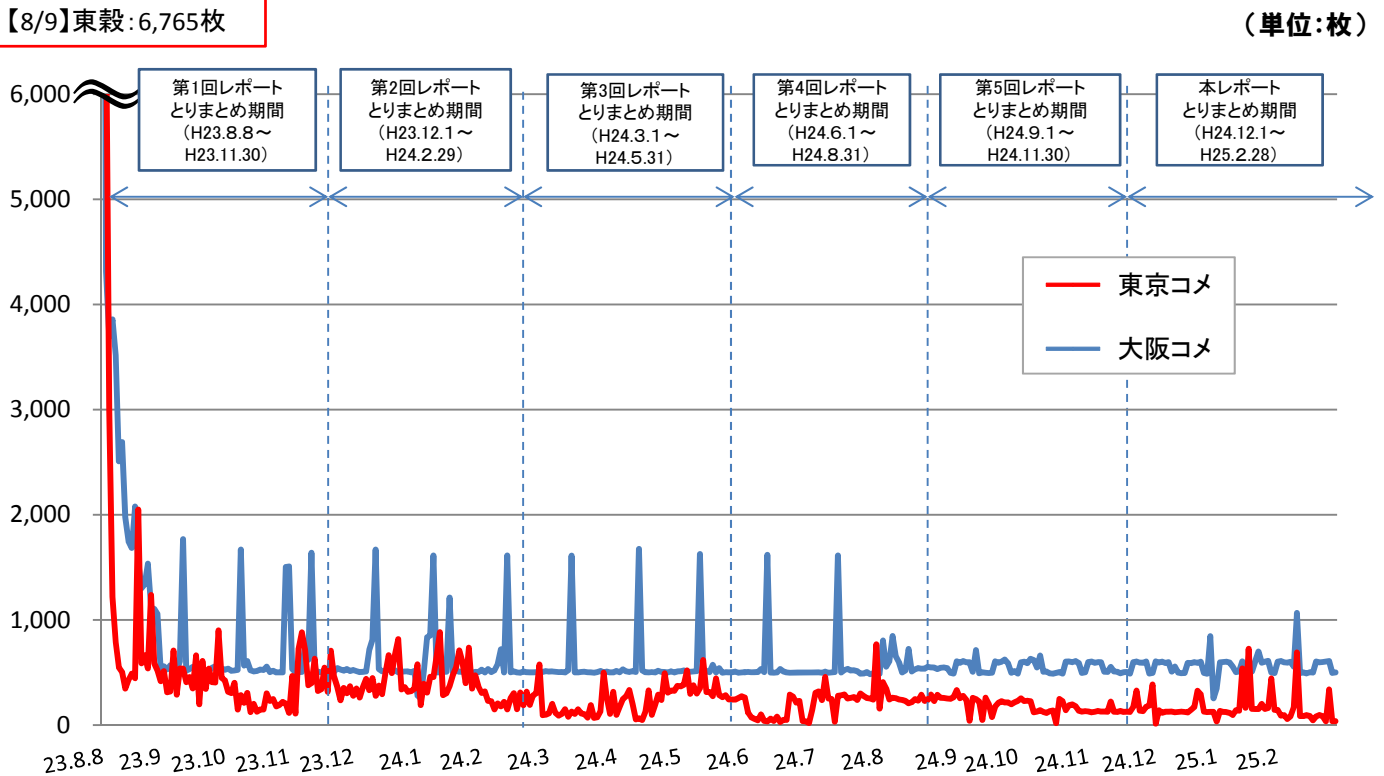
#### ア 出来高の推移(東京コメ、大阪コメ合計)



#### イ 出来高の推移

【8/8】関西取: 11,289枚

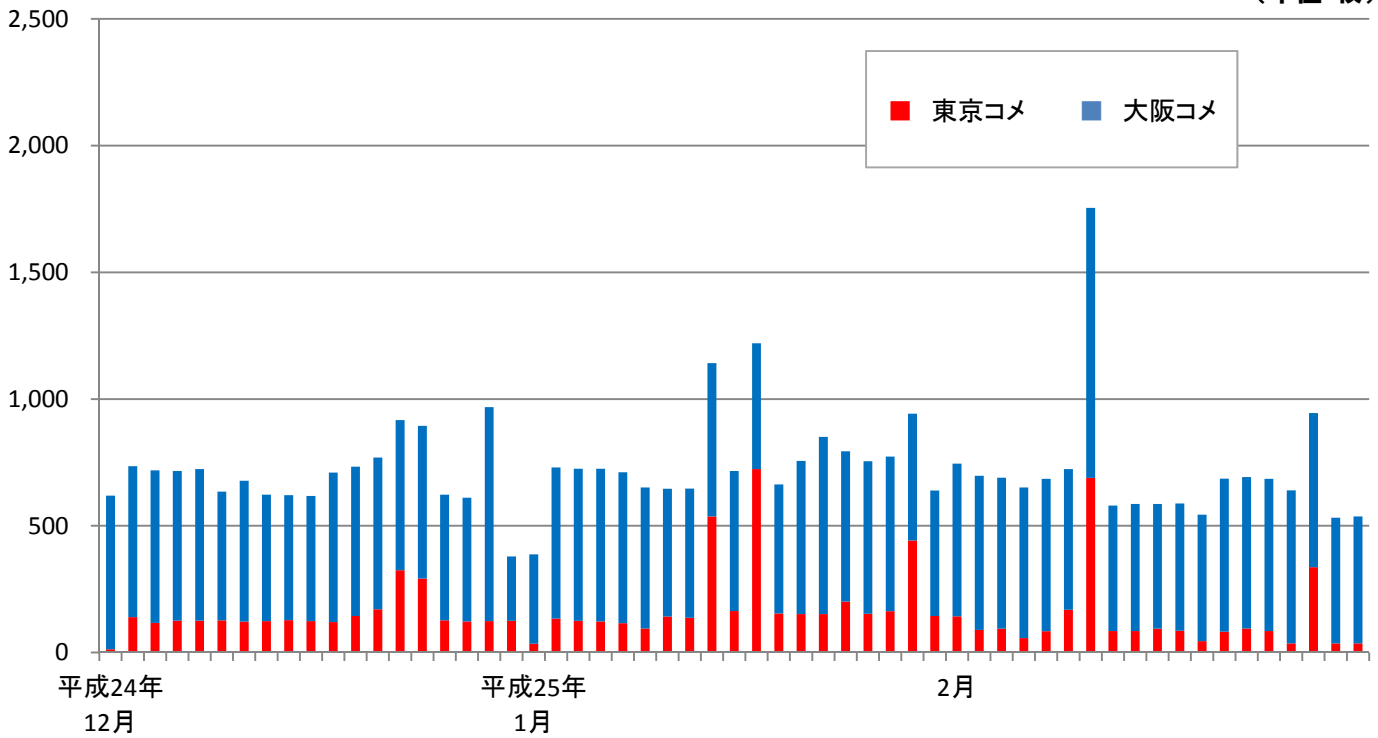
【8/9】東穀: 6,765枚



①-2 出来高の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

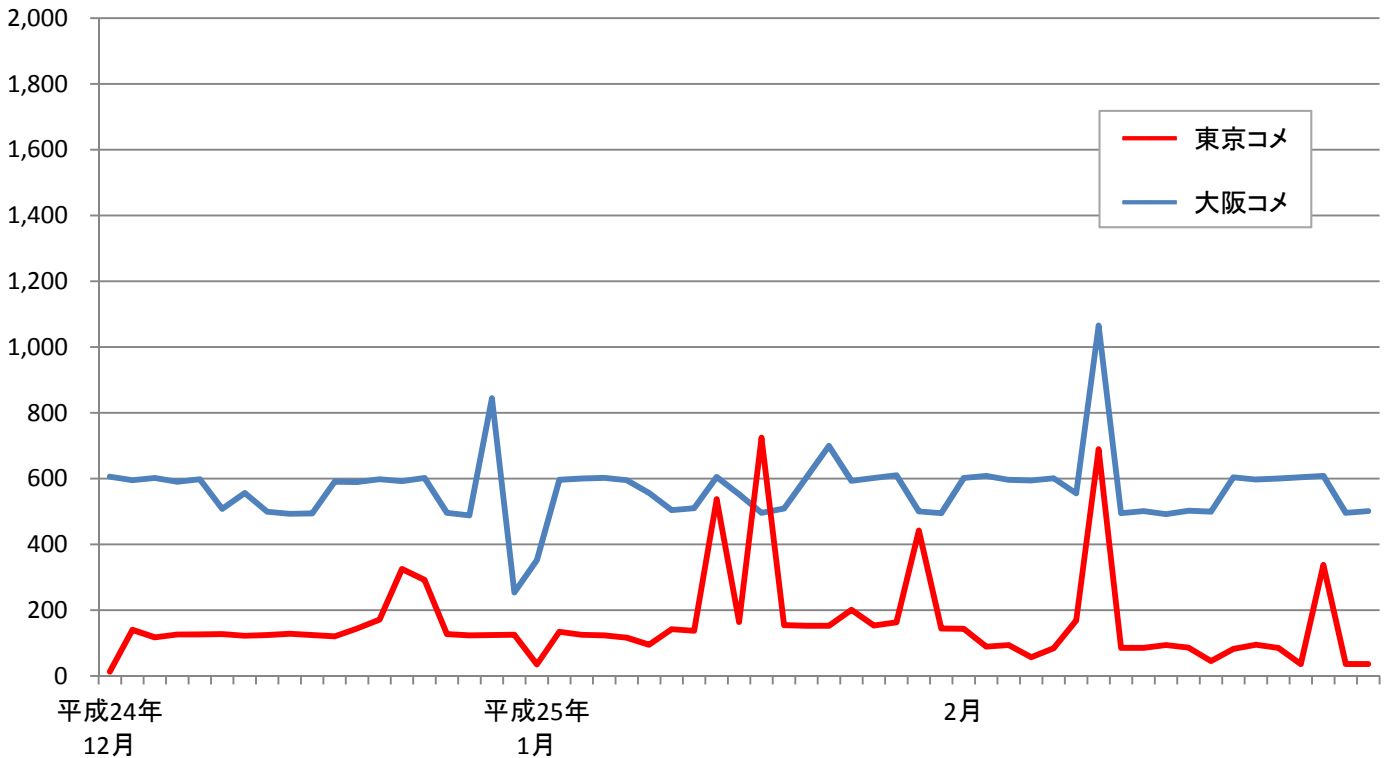
ア 出来高の推移(東京コメ、大阪コメ合計)

(単位:枚)



イ 出来高の推移

(単位:枚)



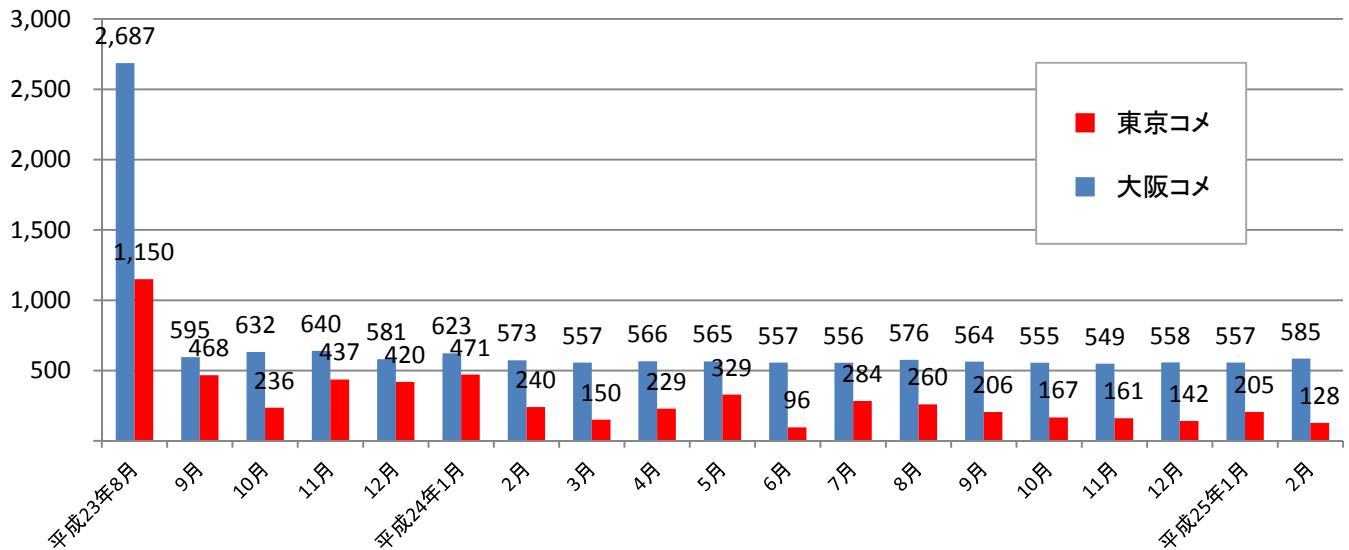
(参考)

標準品：東京コメは、茨城、栃木及び千葉のコシヒカリを標準品として取引を実施。大阪コメは、石川及び福井のコシヒカリを標準品として取引を実施（東京コメ・大阪コメともに玄米1等合格品。）。

限月：受渡月の異なる6限月（例えば、12月に決済期限が到来するものを12月限といい、1の限月と数える。）の米穀を取引。最長6か月先（平成25年2月28日現在では、3月限、4月限、5月限、6月限、7月限、8月限が上場。）の限月の米穀を取引。

## ② 1日の平均出来高の推移【平成23年8月～平成25年2月】

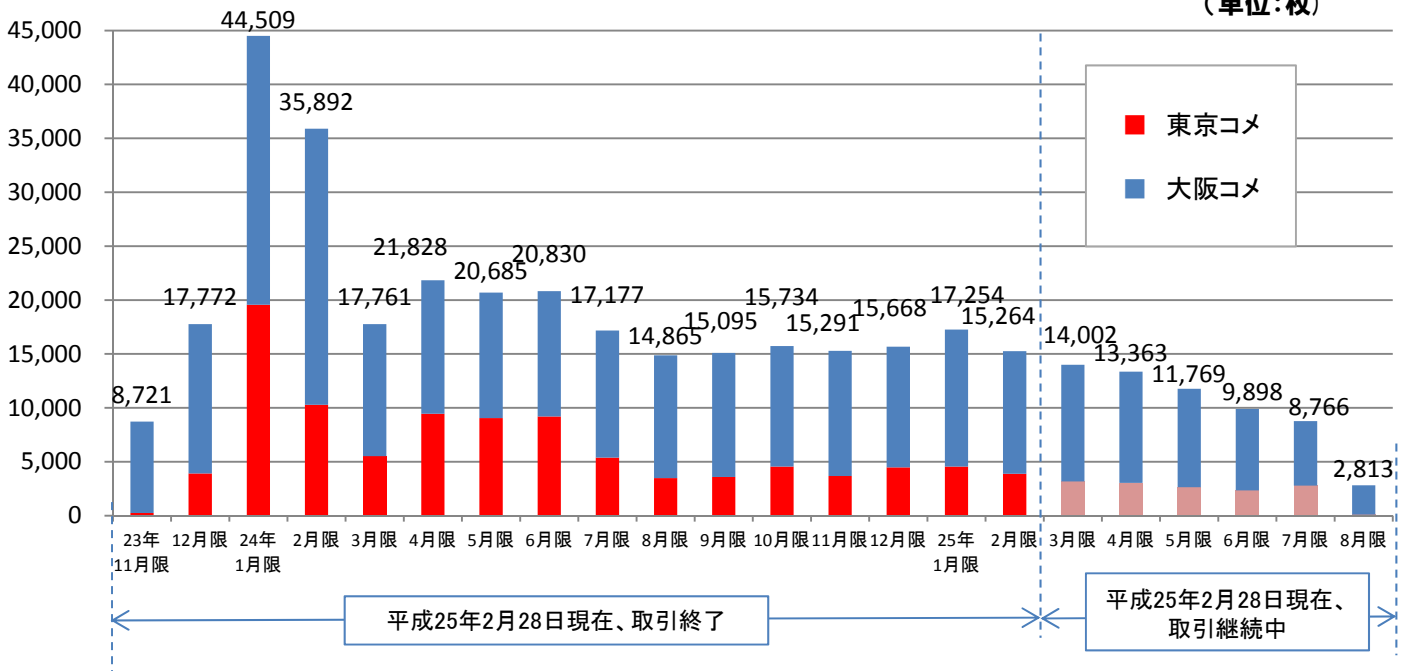
(単位:枚)



注:取引枚数1枚は、東京コメは6トン(玄米)、大阪コメは3トン(玄米)。

## ③ 限月別の出来高状況(東京コメ、大阪コメ合計)

(単位:枚)



注1:平成25年3月限～平成25年8月限については、平成25年2月28日現在、取引中であるため、各限月の発会日(東京コメは毎月21日、大阪コメは毎月11日(休業日の場合は繰り下げ。))から平成25年2月28日までの各限月の出来高の累積値を表しており、各限月で実際に取引された日数が異なる。

注2:平成23年11月限～平成25年2月限については、すでに取引が終了しているため、各限月の発会日から納会日(東京コメは毎月20日、大阪コメは毎月10日(休業日の場合は繰り上げ。))までの出来高の累積値。

## (参考) 海外からの取引参加状況(平成23年8月8日以降の累積値)

(単位:枚)

	米国	シンガポール	合計
売	137	128	265
買	138	128	266

注1:東京穀物商品取引所において取引を行った海外の商品先物取引業者(外国において商品先物取引法第190条第1項の規定による許可に相当する許可を受けている者又はこれに準ずる者)のうち、取引所において把握している者の出来高である。

注2:大阪堂島商品取引所においては、平成25年2月28日現在、海外の商品先物取引業者のうち、取引所において把握している者の取引実績はない。



④ 米穀と他の商品(東商取)の出来高合計の比較  
【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

【平成23年8月8日～平成25年2月28日(385営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	374,957	973	11,289	379
東京コメ	114,894	298	6,765	0
大阪コメ	260,063	675	11,289	254
とうもろこし	1,136,241	2,951	12,738	603
一般大豆	989,172	2,569	14,641	336
小豆	129,779	337	1,839	22
粗糖	48,187	125	2,121	0

【平成24年12月(19営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,292	700	968	379
東京コメ	2,698	142	325	13
大阪コメ	10,594	558	844	254
とうもろこし	36,805	1,937	3,946	603
一般大豆	26,705	1,406	2,827	336
小豆	2,484	131	489	48
粗糖	5,401	284	2,043	4

【平成25年1月(19営業日)】

(単位:枚)

	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	14,473	762	1,220	387
東京コメ	3,893	205	724	35
大阪コメ	10,580	557	699	352
とうもろこし	41,727	2,196	4,348	1,110
一般大豆	23,926	1,259	2,946	483
小豆	2,340	123	316	43
粗糖	3,831	202	2,121	0

【2月(19営業日)】

(単位:枚)

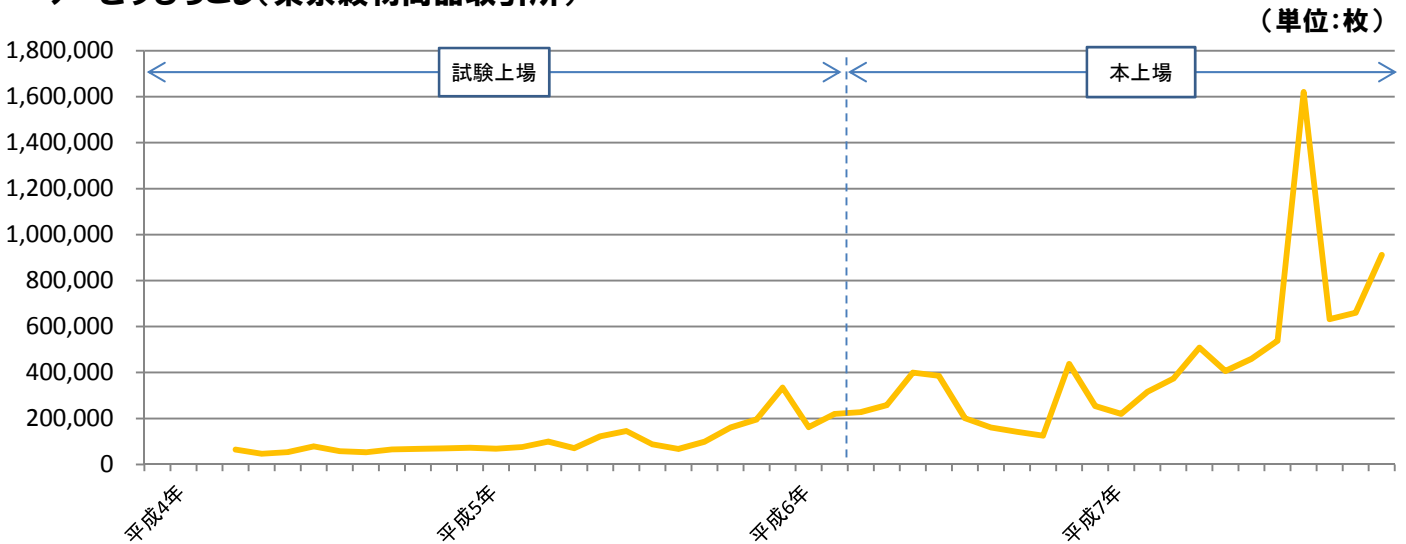
	出来高合計	1日平均	最高出来高(日)	最低出来高(日)
米穀	13,547	713	1,754	532
東京コメ	2,427	128	689	36
大阪コメ	11,120	585	1,065	492
とうもろこし	45,119	2,375	3,230	853
一般大豆	39,467	2,077	3,215	754
小豆	2,565	135	366	22
粗糖	332	17	69	0

注1:出来高合計、1日平均(小数点以下は四捨五入)、最高、最低出来高は、出来高の状況を平成23年8月8日～平成25年2月28日までの期間及び平成24年12月～平成25年2月までの各1か月間ごとに取りまとめたものである。最高又は最低出来高は、各期間中の1日の出来高のうち最高又は最低のもの。

注2:平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

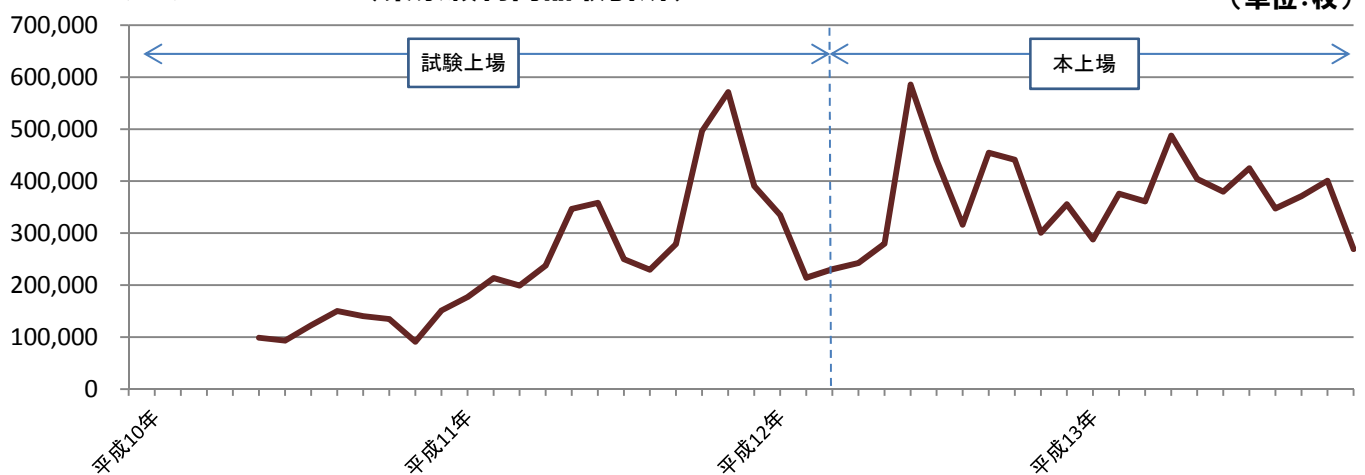
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

ア どうもろこし(東京穀物商品取引所)



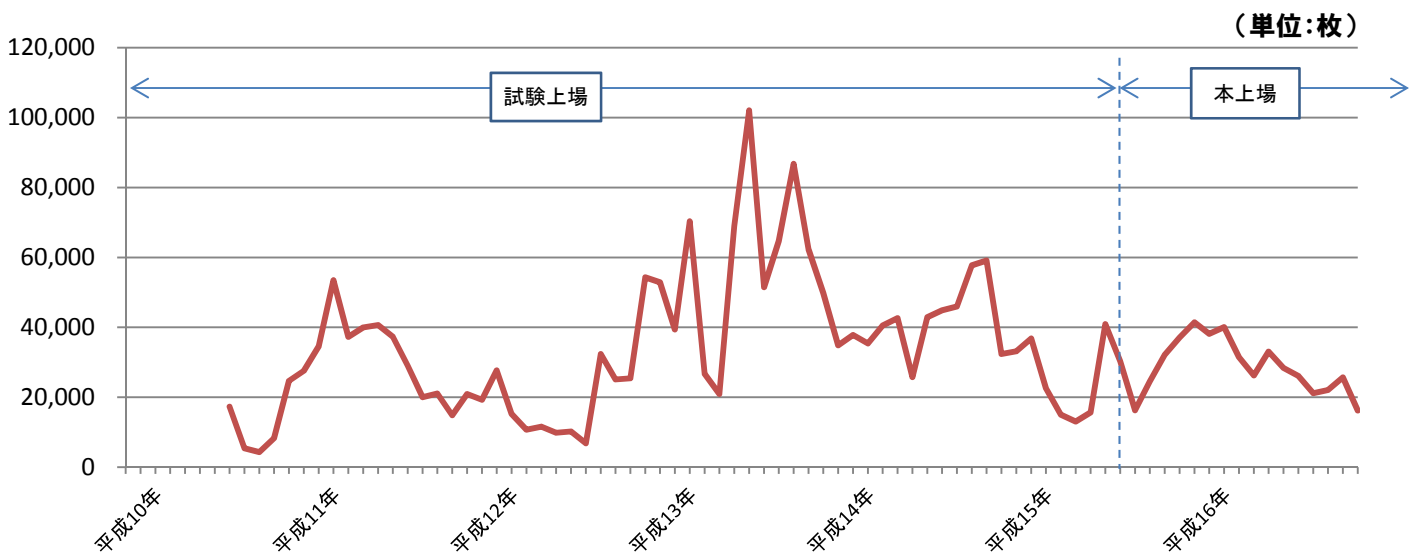
注:平成4年4月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成6年4月に本上場。

イ アラビカコーヒー生豆(東京穀物商品取引所)



注:平成10年6月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成12年4月に本上場。

ウ 国際穀物等指数(関西商品取引所)

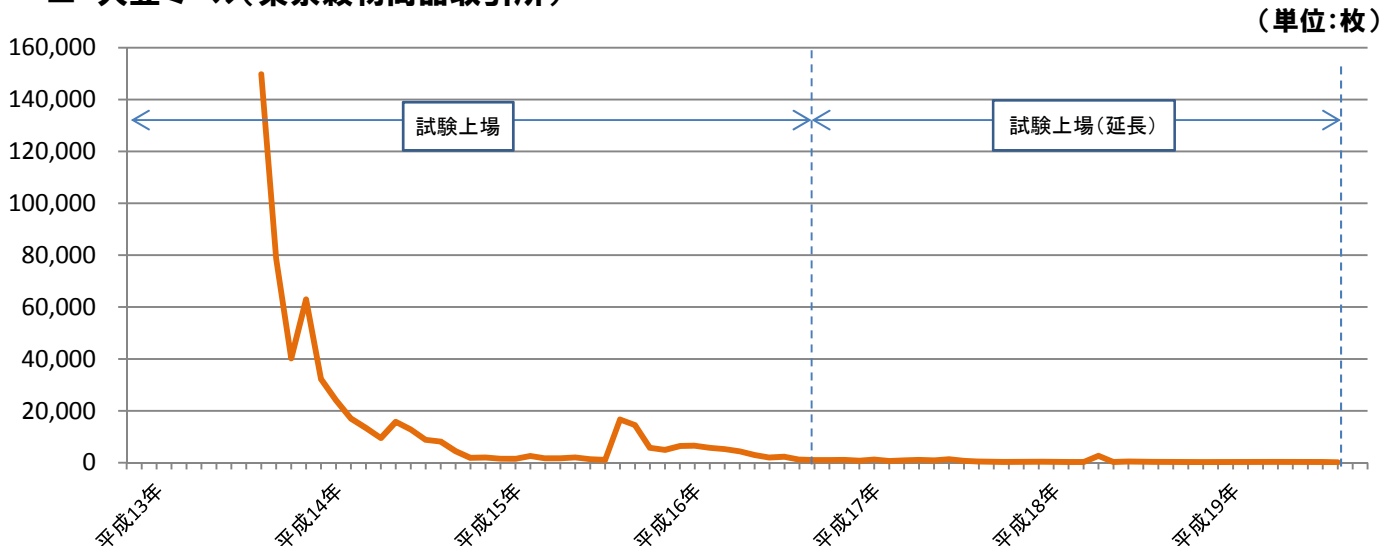


注:平成10年8月に関西商品取引所で試験上場し、平成15年8月に本上場。

資料:社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

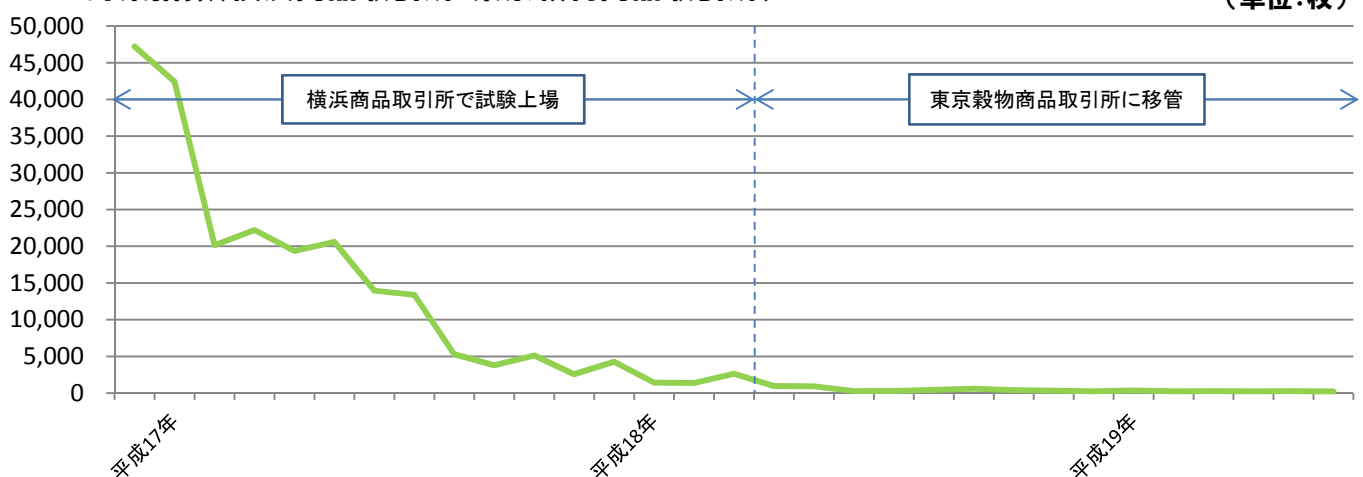
(参考) 過去の新規上場後の出来高推移の例

エ 大豆ミール(東京穀物商品取引所)



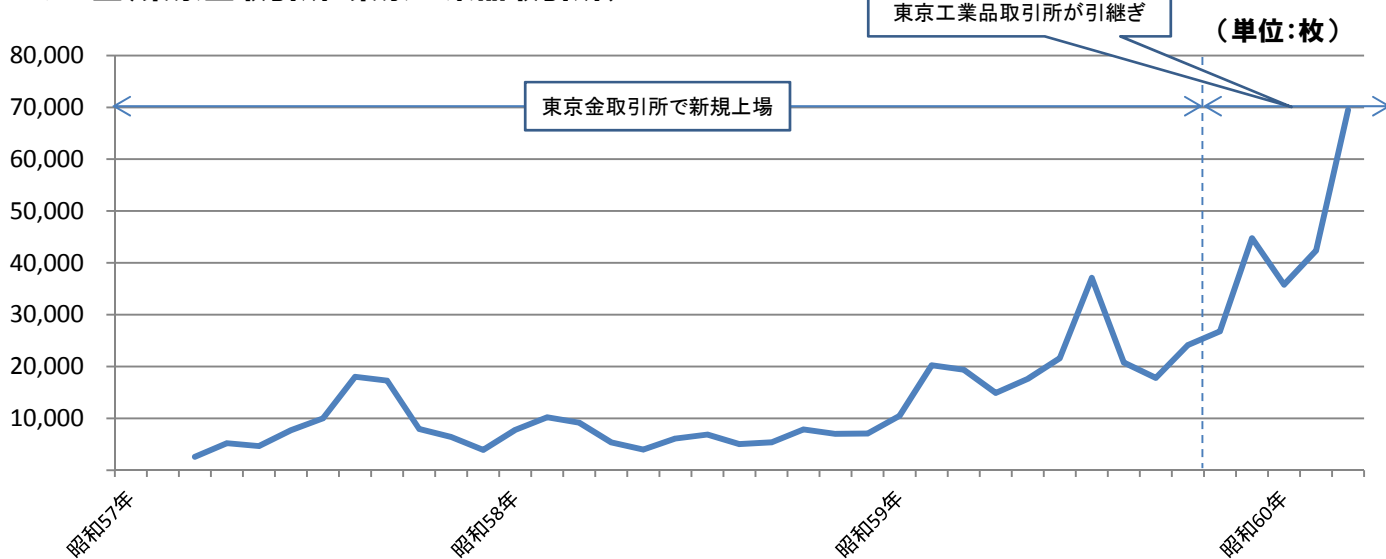
注:平成13年10月に東京穀物商品取引所で試験上場し、平成16年10月に試験上場を延長。

オ 野菜指数(横浜商品取引所・東京穀物商品取引所)



注:平成16年12月に横浜商品取引所で試験上場し、平成18年4月に東京穀物商品取引所に移管。

カ 金(東京金取引所・東京工業品取引所)



注:昭和57年3月に東京金取引所で新規上場し、昭和59年11月に東京繊維商品取引所・東京ゴム取引所・東京金取引所の統合により設立された東京工業品取引所(現・東京商品取引所)に引き継がれている。

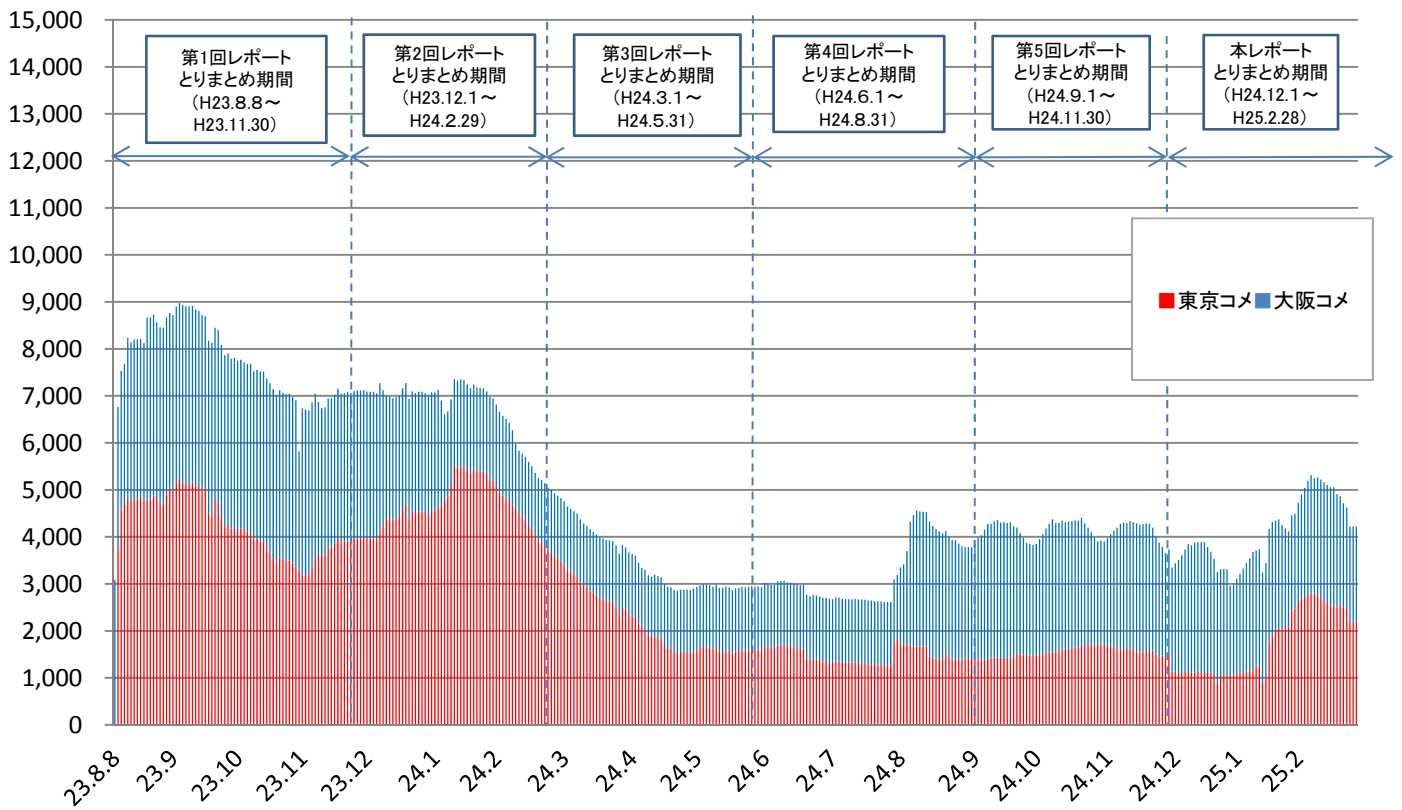
資料: 社団法人全国商品取引所連合会「商品取引所年報」

### (3) 取組高、取引参加者の動向

取組高: 商品市場で成立した売買契約のうち、まだ、決済されず、市場に残っている売買契約数量(売り・買いセットで1枚とカウント)。

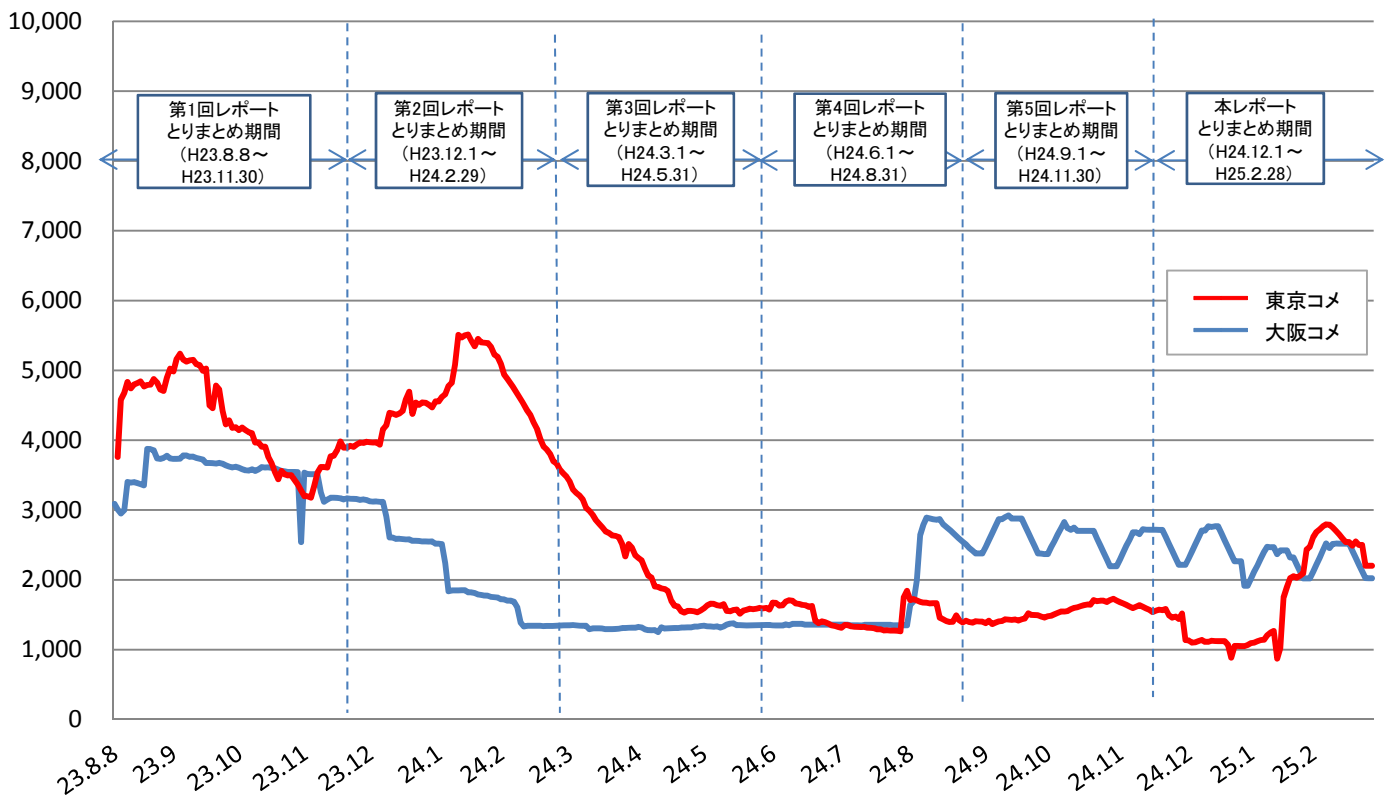
#### ①-1 取組高(東京コメ、大阪コメ合計)の推移 【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



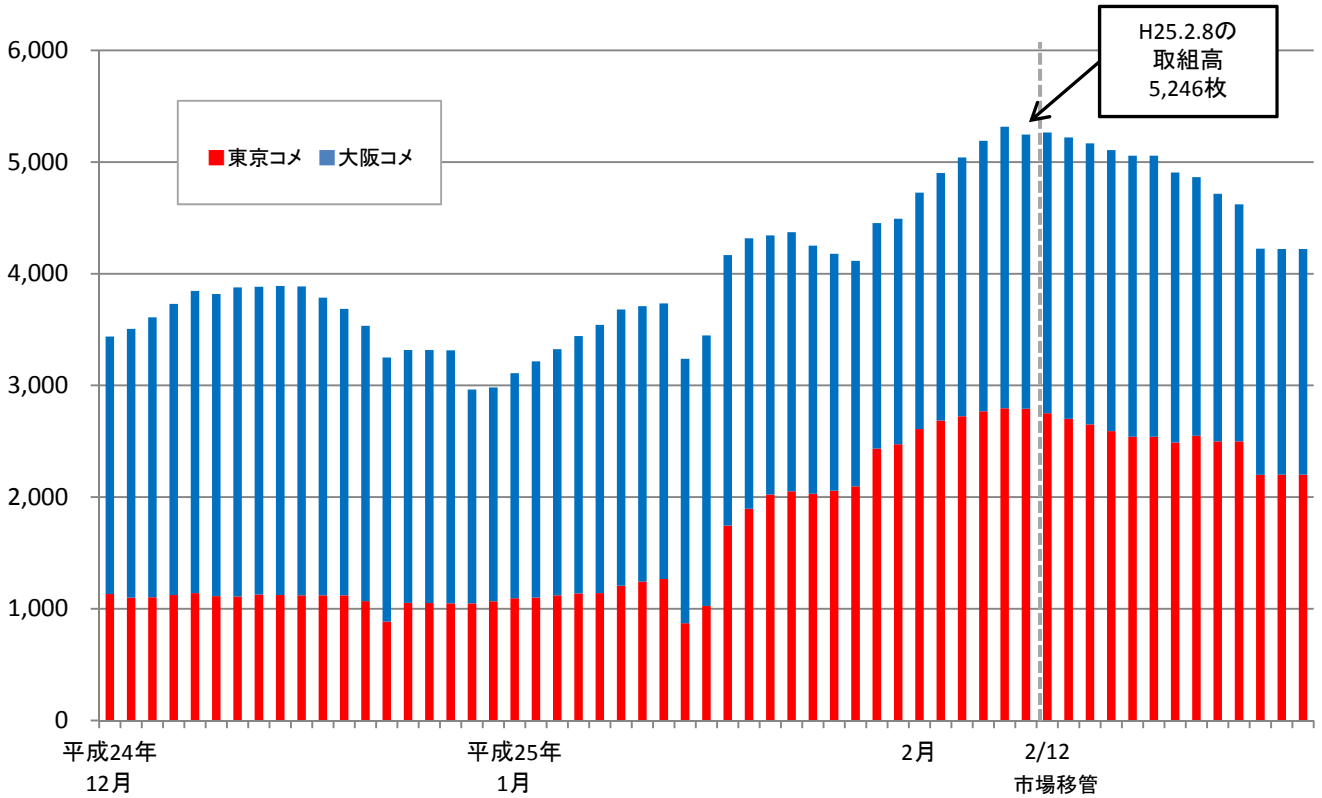
#### ②-1 取組高の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



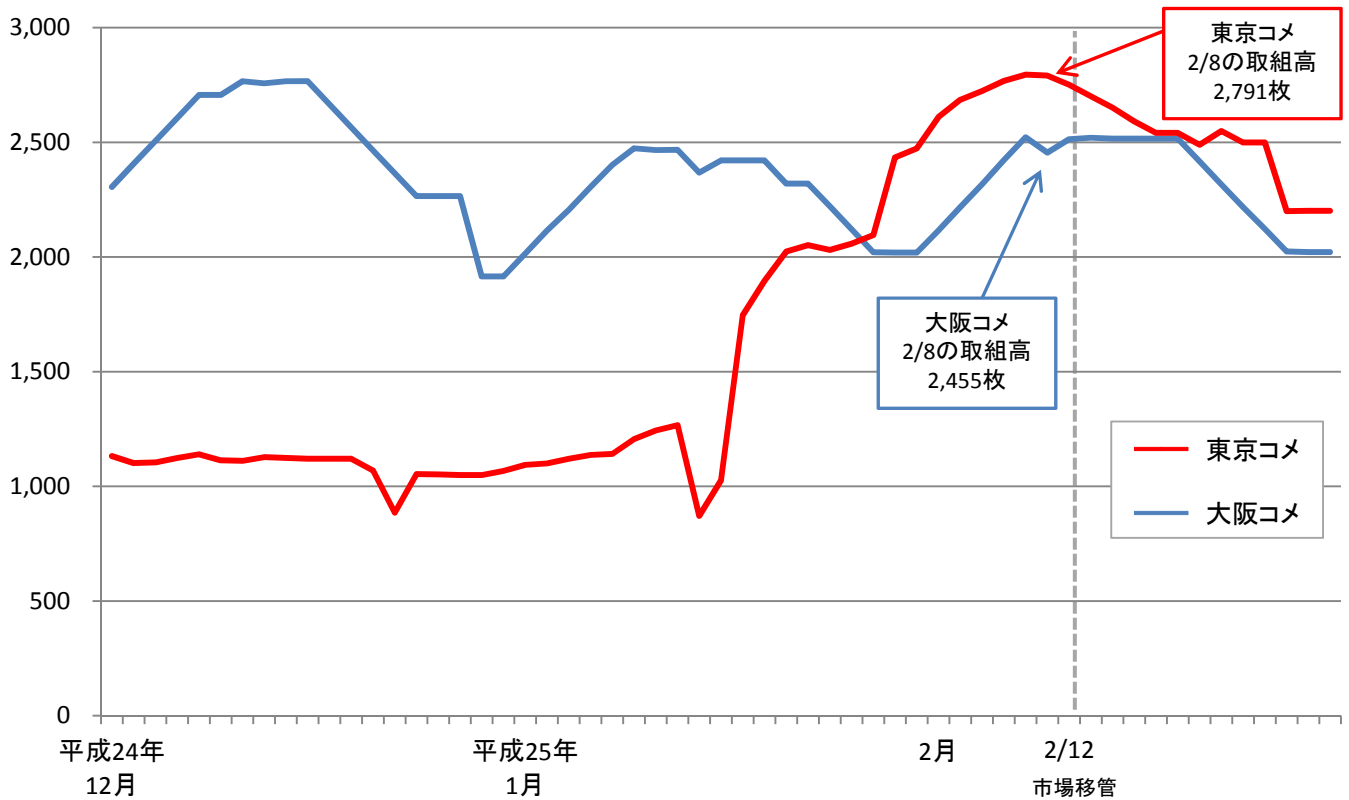
①-2 取組高(東京コメ、大阪コメ合計)の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



②-2 取組高の推移【平成24年12月1日～平成25年2月28日】

(単位:枚)



### ③ 限月別の取組高の状況

#### ア 東京コメ

(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	合 計
平成23年 8月31日現在	78	792	2,358	1,797	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,025
9月30日現在	76	515	1,298	1,340	956	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,185
10月31日現在	51	393	904	582	845	503	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,278
11月30日現在	-	348	807	457	544	1,321	500	-	-	-	-	-	-	-	-	3,977
12月30日現在	-	-	345	351	516	1,213	1,489	642	-	-	-	-	-	-	-	4,556
平成24年 1月31日現在	-	-	-	255	457	1,058	1,120	1,544	761	-	-	-	-	-	-	5,195
2月29日現在	-	-	-	-	295	480	697	1,259	450	298	-	-	-	-	-	3,479
3月30日現在	-	-	-	-	-	306	488	821	224	351	162	-	-	-	-	2,352
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	193	528	178	332	199	131	-	-	-	1,561
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	331	166	147	223	517	191	-	-	1,575
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	109	94	159	331	315	318	-	1,326
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	106	293	227	668	486	1,843

	24年 9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	合 計
8月31日現在	65	122	65	514	482	152	-	-	-	-	-	-	1,400
9月28日現在	-	82	57	516	514	171	121	-	-	-	-	-	1,461
10月31日現在	-	-	41	511	546	246	284	75	-	-	-	-	1,703
11月30日現在	-	-	-	271	452	124	136	89	65	-	-	-	1,137
12月28日現在	-	-	-	-	428	78	131	134	131	165	-	-	1,067
平成25年 1月31日現在	-	-	-	-	-	62	65	191	319	544	1,292	-	2,473
2月28日現在	-	-	-	-	-	-	77	195	321	743	804	61	2,201

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

## イ 大阪コメ

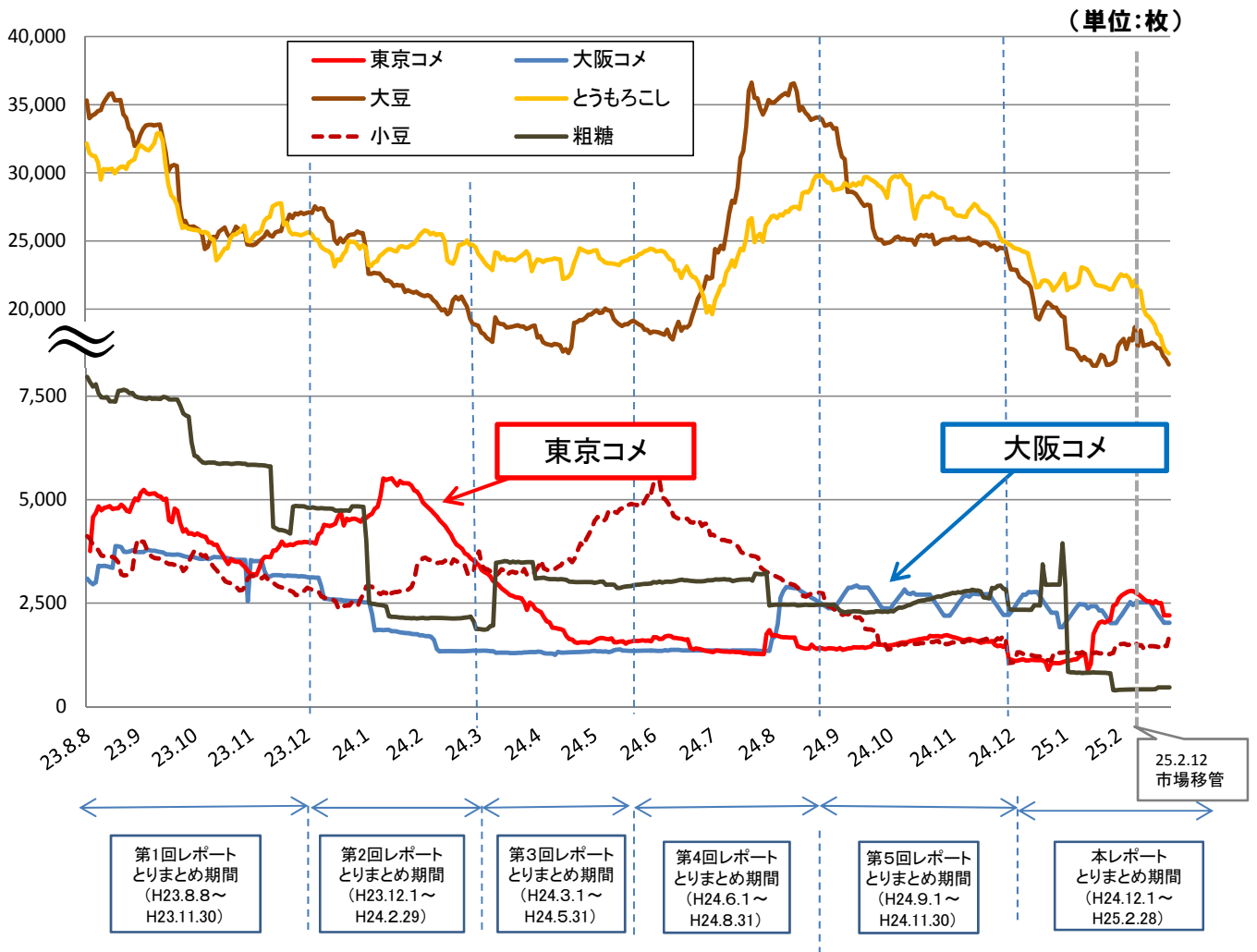
(単位:枚)

	23年 11月限	12月限	24年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	合 計
平成23年 8月31日現在	421	502	806	2,009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,738
9月30日現在	381	502	729	1,378	630	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,620
10月31日現在	385	500	682	724	139	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,540
11月30日現在	-	499	632	695	86	615	615	-	-	-	-	-	-	-	-	3,142
12月30日現在	-	-	597	604	75	65	591	586	-	-	-	-	-	-	-	2,518
平成24年 1月31日現在	-	-	-	407	74	64	41	600	562	-	-	-	-	-	-	1,748
2月29日現在	-	-	-	-	59	63	40	50	562	572	-	-	-	-	-	1,346
3月30日現在	-	-	-	-	-	57	50	50	12	584	561	-	-	-	-	1,314
4月27日現在	-	-	-	-	-	-	41	46	14	24	570	643	-	-	-	1,338
5月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	25	12	23	18	691	584	-	-	1,353
6月29日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	12	20	18	141	600	567	-	1,358
7月31日現在	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	18	141	42	566	560	1,347

	24年 9月限	10月限	11月限	12月限	25年 1月限	2月限	3月限	4月限	5月限	6月限	7月限	8月限	合 計
8月31日現在	10	141	41	316	1,060	810	-	-	-	-	-	-	2,378
9月28日現在	-	131	41	16	760	660	760	-	-	-	-	-	2,368
10月31日現在	-	-	35	20	360	460	560	760	-	-	-	-	2,195
11月30日現在	-	-	-	12	362	160	360	560	761	-	-	-	2,215
12月28日現在	-	-	-	-	14	160	60	360	561	760	-	-	1,915
平成25年 1月31日現在	-	-	-	-	-	62	60	60	360	564	913	-	2,019
2月28日現在	-	-	-	-	-	-	60	60	60	359	710	772	2,021

注:各限月ごとの各月末日の取組高を表している。

④ 米穀と他の商品(東商取)の取組高の推移【平成23年8月8日～平成25年2月28日】



注：平成25年2月8日までの米穀以外の商品については、東京穀物商品取引所における取組高。

(参考)

建玉制限：取引所において、以下のとおり一般投資家一人当たりの取引数量（建玉数）を制限。

【東京コメ】

- 1 番限 300枚（7月限、8月限及び9月限の場合100枚）
- 2 番限 500枚
- 3 番限 1,000枚
- 4 番限以降 2,000枚

【大阪コメ】

- 1 番限 100枚
- 2 番限 350枚
- 3 番限 500枚
- 4 番限 1,500枚
- 5 番限以降 2,000枚

※ 上記は一般投資家の売り又は買いのそれぞれの建玉上限。当業者、商品先物取引業者等については制限を緩和。

※ 1 番限とは、最も早く決済期限が到来するものであり、1 番限から決済期限がより先のものに向かって2 番限、3 番限と数える。平成25年2月28日現在、米穀の場合は、1 番限が3月限、2 番限が4月限、3 番限が5月限、4 番限が6月限、5 番限が7月限、6 番限が8月限。



#### (4) 現物受渡しの状況【平成23年8月8日～平成25年2月28日】

米先物取引の試験上場においては、実際に米穀を受け渡すことにより、取引を決済することが可能。平成23年8月8日から平成25年2月28日までの受渡し状況は以下のとおり。

##### ① 限月別の現物受渡しの状況

###### ア 東京コメ

限月	年産	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	23	コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(60トン)	
12月限	23	はえぬき(山形県産)	10枚(60トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	112枚(672トン)	
平成24年1月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	30枚(180トン)	うち、24枚(144トン)は早受渡し
2月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	20枚(120トン)	うち、14枚(84トン)は早受渡し
3月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	32枚(192トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(108トン)	
4月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	26枚(156トン)	うち、8枚(48トン)は早受渡し
5月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	6枚(36トン)	
6月限	23	コシヒカリ(福島県浜通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	48枚(288トン)	うち、22枚(132トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	うち、2枚(12トン)は早受渡し
7月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	28枚(168トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	23	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
8月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	14枚(84トン)	
9月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	10枚(60トン)	
10月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	6枚(36トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)	12枚(72トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	18枚(108トン)	
11月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	8枚(48トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	18枚(108トン)	
12月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(24トン)	
平成25年1月限	24	コシヒカリ(福島県中通り産)	2枚(12トン)	合意早受渡し
	24	コシヒカリ(新潟県産)	2枚(12トン)	
2月限	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(12トン)	
平成23年8月8日以降の累積値			468枚(2,808トン)	うち、146枚(876トン)は早受渡し又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、東京コメは6トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

## イ 大阪コメ

限月	年産	銘柄	取引枚数(玄米重量)	備考
平成23年11月限	23	コシヒカリ(埼玉県産)	10枚(30トン)	
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	4枚(12トン)	
12月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	5枚(15トン)	
平成24年1月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	39枚(117トン)	
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	17枚(51トン)	
2月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	52枚(156トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	90枚(270トン)	うち、83枚(249トン)は早受渡し
3月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	12枚(36トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	18枚(54トン)	
4月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	9枚(27トン)	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	20枚(60トン)	
5月限	23	コシヒカリ(福島県中通り産)	1枚(3トン)	
	23	コシヒカリ(福島県会津産)	8枚(24トン)	
	23	コシヒカリ(埼玉県産)	1枚(3トン)	
6月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	10枚(30トン)	
7月限	23	コシヒカリ(福島県会津産)	2枚(6トン)	
8月限	23	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	うち、2枚(6トン)は早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	うち、1枚(3トン)は早受渡し
9月限	-	-	-	
10月限	24	コシヒカリ(石川県産)	16枚(48トン)	早受渡し
	23	コシヒカリ(新潟県産)	28枚(84トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)	4枚(12トン)	
11月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	25枚(75トン)	
12月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	1枚(3トン)	
平成25年1月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	2枚(6トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	2枚(6トン)	
2月限	24	コシヒカリ(新潟県産)	3枚(9トン)	
	24	コシヒカリ(新潟県産)2等	1枚(3トン)	
3月限	24	コシヒカリ(福島県中通り産)	8枚(24トン)	合意早受渡し
平成23年8月8日以降の累積値			394枚(1,182トン)	うち、120枚(360トン)は早受渡し又は合意早受渡し

注1:取引枚数1枚は、大阪コメは3トン(玄米)。

注2:早受渡しとは、納会日前に、受方又は渡方が取引所に申出を行い、それに対して渡方又は受方から応諾があった場合、納会日前に受渡しを成立させる制度。

注3:合意早受渡しとは、受渡当事者間の合意により、受渡銘柄・受渡場所・受渡日などを自由に設定できる制度。

注4:特に記載のない限り1等。

## ② 産地品種銘柄の割合

### ア 累積値

銘柄	取引枚数(玄米重量)		
	東京コメ	大阪コメ	合計
コシヒカリ(福島県産)	334枚 (2,004トン)	295枚 (885トン)	629枚 (2,889トン)
割合	71.4%	74.9%	72.4%
コシヒカリ(新潟県産)	116枚 (696トン)	72枚 (216トン)	188枚 (912トン)
割合	24.8%	18.3%	22.9%
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	-	10枚 (60トン)
割合	2.1%	-	1.5%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚 (48トン)	-	8枚 (48トン)
割合	1.7%	-	1.2%
コシヒカリ(石川県産)	-	16枚 (48トン)	16枚 (48トン)
割合	-	4.1%	1.2%
コシヒカリ(埼玉県産)	-	11枚 (33トン)	11枚 (33トン)
割合	-	2.8%	0.8%
平成23年8月8日以降の累積値	468枚 (2,808トン)	394枚 (1,182トン)	862枚 (3,990トン)
割合	100.0%	100.0%	100.0%

### イ 年産別累積値

23年産			24年産		
銘柄	取引枚数 (玄米重量)	割合	銘柄	取引枚数 (玄米重量)	割合
コシヒカリ(福島県産)	619枚 (2,853トン)	83.7%	コシヒカリ(新潟県産)	102枚 (498トン)	85.6%
コシヒカリ(新潟県産)	83枚 (414トン)	12.1%	コシヒカリ(石川県産)	16枚 (48トン)	8.2%
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	1.8%	コシヒカリ(福島県産)	10枚 (36トン)	6.2%
コシヒカリ(茨城県産)	8枚(48トン)	1.4%	平成23年8月8日以降の累積値	62枚 (186トン)	100.0%
コシヒカリ(埼玉県産)	11枚 (33トン)	1.0%			
平成23年8月8日以降の累積値	402枚 (2,412トン)	100.0%			

#### (参考)

受渡供用品：現物の受渡しは、以下の銘柄について、あらかじめ設定された価格調整表に基づき標準品（東京コメは、茨城、栃木及び千葉コシヒカリ、大阪コメは、石川及び福井コシヒカリ）に対して増額又は減額した価格で受渡しが可能（平成25年2月28日現在）。

#### 東京コメ：

コシヒカリ（福島（会津・中通り・浜通り）、新潟、富山、石川、福井、長野、茨城、栃木、千葉、その他府県産）※その他府県産は、平成24年10月限以降に適用。

ひとめぼれ（岩手、宮城）、あきたこまち（秋田）、はえぬき（山形）、きらら397・ななつぼし（北海道）、つがるロマン・まっしぐら（青森）

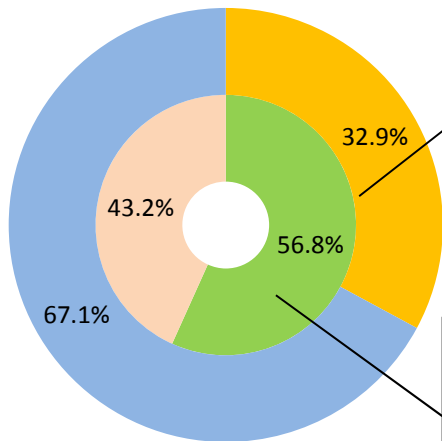
#### 大阪コメ：コシヒカリ（全国）

## (5) 取引参加者の構成

### ① 当業者・非当業者の割合

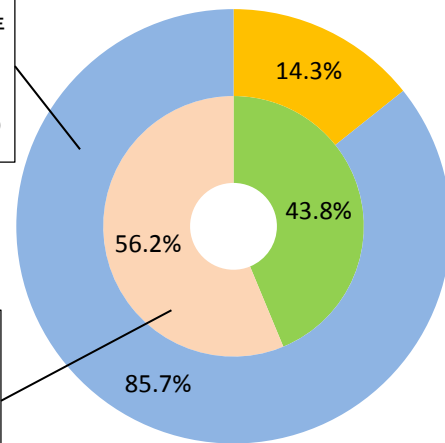
#### ア 東京コメ

各月末時点の割合の平均値  
(平成25年2月まで)



#### イ 大阪コメ

各月末時点の割合の平均値  
(平成25年2月まで)



【外側】  
総建玉に占める当業者・非  
当業者の割合

- 当業者(総建玉ベース)
- 非当業者(総建玉ベース)

【内側】  
期近限月に占める当業者・  
非当業者の割合

- 当業者(期近ベース)
- 非当業者(期近ベース)

		東京コメ		大阪コメ		合計	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末時点の 割合の平均値 (平成25年 2月まで)	総建玉に占める割合	32.9%	67.1%	14.3%	85.7%	22.2%	77.8%
	期近限月に占める割合	56.8%	43.2%	43.8%	56.2%	57.5%	42.5%
平成24年12月末	総建玉に占める割合	73.6%	26.4%	13.3%	86.7%	34.9%	65.1%
	期近限月に占める割合	96.8%	3.2%	28.6%	71.4%	94.7%	5.3%
平成25年1月末	総建玉に占める割合	41.9%	58.1%	14.8%	85.2%	29.7%	70.3%
	期近限月に占める割合	90.3%	9.7%	80.6%	19.4%	85.5%	14.5%
2月末	総建玉に占める割合	15.5%	84.5%	15.1%	84.9%	15.3%	84.7%
	期近限月に占める割合	79.2%	20.8%	83.3%	16.7%	81.0%	19.0%

注1:東京穀物商品取引所及び大阪堂島商品取引所において把握している当業者・非当業者の割合を表している。

注2:総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

注3:当業者とは、米の売買、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。

② 自己取引、委託取引の割合(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売				買				総建玉数	
	自己		委託		自己		委託			
	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合	枚数	割合
東京コメ	1,158	52.6%	1,043	47.4%	1,158	52.6%	1,043	47.4%	2,201	100.0%
大阪コメ	210	10.4%	1,811	89.6%	222	11.0%	1,799	89.0%	2,021	100.0%
合計	1,368	32.4%	2,854	67.6%	1,380	32.7%	2,842	67.3%	4,222	100.0%

注: 自己取引とは、商品先物取引業者が自己資金で行う売買であり、委託取引とは、商品先物取引業者が多数の顧客から委託を受けて、当該顧客の資金で行う売買をいう。

③ 建玉報告対象者の割合

建玉報告対象者: 米穀の先物市場においては、21枚以上(東京コメは玄米重量で126トン、大阪コメは玄米重量で63トン)の建玉を有する者。

ア 東京コメ(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,201	100.0%	2,201	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	2,136	97.0%	2,123	96.5%

イ 大阪コメ(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

	売		買	
	枚数	割合	枚数	割合
全取引参加者の総建玉数	2,021	100.0%	2,021	100.0%
うち建玉報告対象者の建玉数	1,953	96.6%	1,960	97.0%

(参考) 他の上場商品の建玉報告対象者の割合(東京商品取引所)(平成25年2月28日現在)

(単位:枚)

		売		買	
		枚数	割合	枚数	割合
とうもろこし	全取引参加者の総建玉数	16,746	100.0%	16,746	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	12,790	76.4%	10,234	61.1%
一般大豆	全取引参加者の総建玉数	15,934	100.0%	15,934	100.0%
	うち建玉報告対象者の建玉数	13,448	84.4%	10,894	68.4%

注: 商品先物取引法第112条第2号に基づき、商品取引所は、それぞれの商品先物市場において一定の建玉(米穀については21枚以上、東京商品取引所のとうもろこし及び一般大豆については51枚以上)を有する者の建玉の状況等を、毎日、主務大臣に報告することとされている。

